

Keep Going!!

K.N さん FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 3回目、AUD : 2回目

.. 1

税理士からU.S.CPAへの挑戦

下川 静 さん FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 2回目、AUD : 2回目

.. 2

Beckerのオンライン教材で効率的に学習

高橋 良 さん FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

.. 3

育児と仕事と勉強の両立

宮村 陽子 さん FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 2回目、AUD : 2回目

.. 4

人生の節目にも根性でチャレンジ

Y.K さん FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

.. 5

5年間継続再受講制度の活用

S.H さん FAR : 3回目、BEC : 2回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

.. 6

80歳までの就業に向けて

梨本 光太郎 さん FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 2回目、AUD : 1回目

.. 7

Becker Online教材を覚える日々

渡邊 宏樹 さん FAR : 1回目、BEC : 3回目
REG : 1回目、AUD : 2回目

.. 8

働きながらも無理することなく合格できる試験です

松田 啓輔 さん FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

.. 9

社会人でもちゃんとやれば確実に合格できる資格

高橋 潤 さん FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 2回目、AUD : 1回目

.. 10

夢がようやくカタチになって、一歩前進

高比良 聡子 さん FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

.. 11

USCPA合格までの道のり

酒井 乙 さん FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 2回目

.. 12

急がば回れの姿勢を大切に

滝澤 容子 さん FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 2回目、AUD : 2回目

.. 13

**TAC合格体験記を読んでTACの教材を信じる
ことが合格への近道**

Y.N さん FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

.. 14

アロマテラピー検定に導かれたUSCPA

岡本 航 さん FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 2回目

.. 15

道は開ける

K.O さん FAR : 2回目、BEC : 2回目
REG : 2回目、AUD : 3回目

.. 16

働きながらも合格できます

葛 佳梅 さん FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

.. 17

TACとBeckerを信じ、最後まで諦めないこと

E.A さん FAR : 4回目、BEC : 7回目
REG : 3回目、AUD : 4回目

.. 18

完璧を目指さず、メリハリをつけて

齋藤 広樹 さん FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 2回目、AUD : 2回目

.. 19

信じる思いで、夢を実現させてください！

劉 一博 さん FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 2回目、AUD : 2回目

.. 20

**会計知識ゼロ、英語ノンネイティブでも継続努力
すれば合格できる！**

笹岡 則宏 さん FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

.. 21

定年退職を契機にチャレンジ

鈴木 勤 さん FAR : 3回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 3回目

.. 22

基礎を大切に

桑原 雄治 さん FAR : 1回目、BEC : 1回目
REG : 1回目、AUD : 1回目

.. 23



Keep Going!!

K.N さん

1986年4月生まれ
勤務先：製造メーカー

2017年12月 USCPA試験合格（アラスカ州）
FAR：79点（2016年9月／1回目）、BEC：80点（2016年8月／1回目）
REG：80点（2017年9月／3回目）、AUD：76点（2017年11月／2回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

海外駐在中に国際的に認知されている資格を取得したいと考えていました。

現地の米国人上司がUSCPA保有者として活躍していて、周りからも評価されているのを見ていたので、この資格の国際的な価値は認識していましたが、駐在員として仕事をしながらの取得は自分には難しいかなと思っていました。しかしTACの教材でUSCMA（米国公認管理会計士）を短期間で取得出来た事で、頑張ればUSCPAも合格できるかもしれない。。という自信が付き、また、学習した内容をそのまま一部の科目に生かせると思ったのでチャレンジすることにしました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：USCMAをTACの講座で取得、また、仕事では管理会計関連業務に従事。

英語知識：TOEIC®L&R TEST 815点 また仕事では日常的に英語を使う環境にいました。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

過去にTACの講座を受講したときに合格までサポートして頂いた実績がありましたし、海外受講でも単位取得などのサポート体制もしっかりされている印象を受けていたので選ばせていただきました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

TACの教材と講師の皆さん信じて基本に忠実に学習すれば合格できると思います。

内田先生の直前対策まとめ

草野先生のモチベーションの上がる授業

いつでもどこでもスマホで出来るBecker online などなど

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

海外にて通信で学習しました。学習開始から全科目合格まで2年間です。

私の場合、途中で海外駐在からの帰任や転職などにより学習できない期間もありましたので多少時間のロスがあったかと思います。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

社会人になってから学習する習慣がなく勉強のリズムを掴むのが難しかったのですが、仕事やプライベートでどんなに忙しくても週20時間以上集中して机に向かうというノルマで学習しました。

全科目共通して、まずDVD講義を見ながらまとめノートを作成し、TAC問題集を3周してから、さらにBecker onlineソフトの問題を細かく3周以上しました。onlineソフトのランダム問題でコンスタントに90%以上を取れるようになるまで続けました。Becker onlineソフトは通勤時間やスキマ時間にスマホで出来るので、かなり活用できるかと思っています。間違えた問題や自信のない論点、苦手な仕訳

などについては都度まとめノートに自分なりのサマリーを追記していきました。特に直前期にはまとめノートのレビューで効率的に自信をもって試験に臨めました。

科目別では、REGとAUDで苦戦しました。

REGは3回目ようやくPASSしました。本試験では、論点が不明な問題もでていのように思い困惑することもあったのですが、実際は基本を応用すれば回答できる問題だったんだと思います。ビジネスローは分量の割に試験では問題がほぼ出なかったり、逆に細かい問題もたくさん出たり対策が難しかったのですが、とにかく細かい論点まで理解して自信を持って挑めるようにしました。SIM問題は当たりハズレがその時々で多かった印象ですが、どんな問題でもあきらめず部分点は稼ぐようにしました。最後は内田先生の直前対策まとめを徹底的にレビューして+aで少し細かい論点も覚えて臨んでなんとかPASSすることができたように思います。

AUDは最後に受験しました。分量や論点は他の科目と比較しても多くはないのですが、基本論点の深い理解度が求められる科目だと思っています。ここでつまづく方も多いと聞いていたので、テキストを徹底的に読み込んで、エンゲージメントからレポートの発行までの流れを頭の中で細かくすべてイメージして説明できるまで理解して、他の科目以上に暗記ではない理解を深めることに努めました。一度FAILしてしまったのですが、その時の反省点としては、問題を何周もしていると回答を覚えてしまい論点の理解が抜けてしまいがちで、本試験で点数を落とすことになっていったんだと思います。なぜそれが正答になるのかの理由付けをすべての問題でするように意識して問題演習をして本試験に臨みPASSすることができました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

NASBAへの受験申請に時間が掛かり、受験スケジュールが遅れてしまいそうになりました。いくら待ってもNTSが発行されず、メールで催促し続けても一向に動いてくれなかったのですが、担当者に電話すると直接その場で書類を確認してくれて、数時間後にNTSが発行されました。ただ後回しにされていたのか、など詳細は分かりませんが、この辺の手続きは遅延することが良くあると思いますので、受験スケジュールは余裕をもって立てることをおすすめします！

Q9 これから合格を目指す方へのアドバイス

多くの方が長期間学習することになるとと思いますので、社会人で受験される方は特に家族や友人など周りの方の理解と協力が不可欠だと思います。振り返ると周りからの何気ない気遣いやサポートなどがなければ乗り越えることができないこともあったので、感謝の気持ちを忘れずに学習することも大切だと、合格までたどり着いて改めて思っています。

駐在からの帰任、引越し、転職など環境の変化が何度かあり、なかなか前進できない時期が続き最初の合格科目のExpireが迫ってきている危機感や焦りを感じることもありましたが、そんな中でも最初にした決意を都度思い出すようにして目標を見失わずに毎日少しでもコツコツと努力を続けて、ゴールまでたどり着くことができました。TACの教材と講師の皆さんを信じて、何があってもとにかく諦めなければ、努力が必ず結果に結びつく資格だと思っていますので、皆さんも最後までやり切ってください！



税理士から U.S.CPA への挑戦

下川 静 さん

1971年2月生まれ
九州大学 1998年3月卒業
勤務先：税理士法人
登録税理士、社労士試験合格 (TACにて) (未登録)

2017年12月 USCPA試験合格 (GUAM州)
FAR : 91点 (2017年11月/1回目)、BEC : 83点 (2017年8月/1回目)
REG : 86点 (2016年11月/2回目)、AUD : 84点 (2017年1月/2回目)

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

税理士試験に合格したのち、税理士法人に就職し税理士業務を中心に行ってきました。会社では自己啓発を進めており、いろんな学習を推薦しています。その中で、自分はやはり英語が得意であることや、米国会計が日本会計に与える影響を税理士試験で痛感したこともあり、また、もう一度会計の基礎を学ぶことの重要さも仕事の中で感じており、本格的に米国公認会計士の勉強をするきっかけになりました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：税理士試験合格
英語知識：TOEIC®L&R TEST 930点

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

TACで社会保険労務士試験講座を受講したことがきっかけとなり、TACの講師陣の素晴らしさを身をもって体験していました。US CPAを考える時に、迷わずTACにしました。残念ながら、福岡校では教室講座が無く、通信講座が個別DVD講座しか受けられませんでした。それでも講師陣のそれぞれ特徴のある授業のおかげで、また講師からの励ましに勇気を付けられ、挫けず最後まで頑張った結果合格に至りました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

多岐に渡る講座の講師が、それぞれ試験内容を熟知し、無駄なく合格できるようにカリキュラムを作成したように感じました。例えば、REGの内田講師が独自に作成された「脇に開けばなしのまとめ」がまさに試験内容を濃縮させた一冊です。電車でも気軽に読めるし、練習問題を解くときに気軽に参考にできるなど、本当に感心しました。どうしても日本と違う部分について分からないときは、質問コーナーで講師の皆さんが親切に答えてくださって、とても助かりました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

DVD通信講座
2013年秋～2017年秋 4年間

Q6 合格までの学習法（全般的なこと/科目別）

使用する教材等は、TACのテキスト、DVD講義、BECKER練習問題集だけでした。

DVD講義とテキストはセットで使用し、すべての科目はおおよそ3回ほど回転しました。

1回目は聞いた後にTACの練習問題を解き、2回目はただ聞いただけでした。そして、BECKER問題を解いてみたらまったくできず、焦りました。やはり聞いただけでは、頭の中で分かったつもりでも、実際に問題を解くことができず理解していないということが分かりました。そして、3回目は理解する事を中心に、スローペースでDVD講義を見ました。各章終わり次第TACの問題集で理解していたかどうかを確認し、できなかった部分はもう一度聞くようにしていました。

科目ごとに異なる勉強法をせず、すべて同じような作業を繰り返しました。受験手続が難航し、一年ぐらいかかりました。やっと受験手続が終わり、すぐREGとAUDを一日の日程で受験しました。本番はスピードが要求されること、基礎知識が要求されることが分かり、今までの勉強法が間違いないことも確認できました。

それから、一年をかけて、本番前2、3ヶ月はBECKER問題集を解くことに集中し、一日一科目の受験日程を組んで試験を受け、その都度合格出来ました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

受験手続が難航した理由の一つは、大学3年次で飛び級試験を受けて大学院に行ったことでした。どうやらNASBAでは、飛び級に対して非常識だとの認識があるようで、どうして4年間大学に行かなかったのと、しきりに質問状が来ます。しかも、そのたび違う担当者から連絡がありました。「NASBAにはどれだけの従業員がいますか」と私から質問してしまったほどややこしかったです。

Q8 勉強したことが仕事に役立っていることは

U.S.CPA試験を通じて会計（財務会計、管理会計）を再勉強することができ、税理士業でも非常に役に立ちました。特に税理士試験では管理会計の試験科目が無く、日商簿記1級を受けたときの知識しかありませんでした。日ごろの業務中お客様から内部統制や、管理会計に関する質問が多数あります。試験を通して再勉強していることで理解を深め、お客様の質問にもスムーズに答えることができました。

Q9 これから合格を目指す方へのアドバイス

まずTACの講座を100%信頼し、講師のアドバイスをしっかり聞くことです。学習法で紹介しきれない講師陣のコメントが本当に試験合格に結び付くものばかりでした。講座を聞いた後に必ずTAC問題集、BECKER問題集を解くことです。BECKERは問題数が多いため、本当に大変でしたが、偶数番号の問題だけ解いたりしても十分です。

また仕事しながら勉強される方にとっては、DVD通信講座をお勧めします。朝の1時間とか、寝る前の30分とか、こまめに時間を区切って聞けるので便利です。



Beckerのオンライン教材で効率的に学習

高橋 良 さん

1992年生まれ
立教大学 経営学部
勤務先：日系メーカー 経理部門

2017年12月 USCPA試験合格（アラスカ州）
FAR：92点（2016年11月／1回目）、BEC：86点（2017年2月／1回目）
REG：77点（2017年8月／1回目）、AUD：75点（2017年12月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

会計・英語のスキルを土台にキャリア形成をしていきたいという思いがあったので、その両方を習得・証明できるUSCPA試験にチャレンジいたしました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：日商簿記2級
英語知識：TOEIC®L&R TEST 910点

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

他社の教材と比べてかなりボリュームであり、そこで“TACの教材のみで全科目一発合格を目指せる”と確信できたことです。また、TOEIC®L&R TESTの点数で結構割引が効いたことも決め手でした。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

Beckerのオンライン教材が非常に使いやすかったです。スマホ・タブレット用のアプリケーションの出来がよく、外出先でもストレスなく効率的に問題演習に取り組むことができました。また、試験範囲・制度改定にあわせてアップデートされる改定レジユメも重宝しました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

通信で学習しました。学習期間は2016年2月～2017年12月の1年10ヶ月です。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

【学習の流れ】全科目共通して、講義受講と並行してTAC問題集を解く → BeckerでMC・TBS演習という流れで進めました。

【講義】すべて音声のみ・基本倍速で受講しました。この方法だと内容についていくために必死にテキストを追うようになるので、かえって集中できると思います。全講義受講しましたが、簡単な回は飛ばしてしまったほうが効率的だったなと思います。

【問題演習】BeckerのMC・TBSを正答率が6～8割程度になるまで解きました。全範囲を短期間で複数回転させることが記憶の定着に有効でしたので、基本1、2問飛ばしで解き進めました。間違えた問題の論点を都度、テキストで確認するのも効果的だと思います。直前期にはMock Examで正答率の悪かった問題をMCで重点的にカバーしました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

留学先で取得した単位の証明の入手に現地スタッフの対応が悪く大変手間取ったこと、単位認定試験の受験が遅かったことが重なり、最初の科目のFARの受験が3ヶ月ほど予定より遅れました。かなり基本的なことですが、受験手続き完了までにいつまで何をすべきかをバッファーを持って予定を立てることができていれば、もっと早く試験を終えられたと思います。

Q8 勉強したことが仕事に役立っていることは

製造業の経理部門で働いているので、FAR・BECで学んだ制度会計・管理会計の知識は仕事にダイレクトに役に立っております。

Q9 これから合格を目指す方へのアドバイス

Q7で述べた通りですが、合格までのスケジュール（特に1科目目受験まで）をしっかり立てておくことが早期合格するにおいて大切です。

また、試験勉強の動機付けをしっかりと行うことも大切だと思います。わたしの場合、漠然と自己研鑽としかCPA試験を位置付けていなかったため、後半2科目（REG・AUD）を勉強する頃にはかなりやる気がなくなっていました。（点数も両方とも合格ギリギリでした。）合格したら〇〇する、というターゲットを定めて勉強するのが良いかと思いません。



育児と仕事と勉強の両立

宮村 陽子 さん

勤務先：金融機関
経理部所属
(合格後、グローバル部門に異動)

2017年7月 USCPA試験合格 (アラスカ州)
FAR : 78点 (2016年7月/1回目)、BEC : 78点 (2016年8月/1回目)
REG : 79点 (2017年2月/2回目)、AUD : 77点 (2017年7月/2回目)

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

女性のCFOに会う機会があり、今後のキャリアについて相談した際、USCPA取得を薦められましたことがきっかけです。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：日簿記2級
英語知識：TOEIC®L&R TEST 795点

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

TACの簿記2級の直前対策講座を取ったことがあること。ネットの評価等を参考にして他社と比較して、ボリュームが十分にあり他の教材をやる必要がないこと、国内大手でサポートもしっかりしている印象を受けたので決めました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

FARの小泉先生、TAXの内田先生、BLの杉浦先生が印象に残っています。AUDはBeckerの講義も不得意分野のみ視聴しました。TAXの内田先生の直対は特に役に立ちました。FARの小泉先生は授業の合間にご自分の話をしてくださり、長い講義の合間のリラックスタイムとなりました。勉強がつらい時などに思い出すこともありました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

DVD通信。2015年12月～2017年7月の約1年半。育休中は1日3-5時間、職場復帰後は平均2時間、土日3-4時間。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと/科目別）

- FAR, BEC・・・DVD、TACテキスト(1周)と問題集での演習(2.5周)⇒FAR,BEC受験
- REG・・・DVD、問題集での演習(2周)⇒REG受験(1回目)、問題集演習(3回目)⇒REG受験(2回目)
- AUD・・・DVD、問題集演習(2周)、⇒AUD受験(1回目)、Beckerの講義一部視聴、オンライン問題集(1問飛ばしで1周)⇒AUD受験(2回目)

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

受験手続

2017年4月から実施される新試験前の駆け込み受験により、NIESの学歴審査に時間がかかった以外の手続きはスムーズでした。新試験までに全科目合格を目指しましたがAUDのみ合格できず、2017年7月に再受験しました。

受験時のエピソード

Regの1回目の受験の時、SIMでAGIの増減金額を聞かれているのにAGIの総計金額を入力してしまったことに、テスト終了2分前に気づきましたが、全てを直す時間がなく、結果73点となり合格点に届かず悔しい思いをしました。

Q8 勉強したことが仕事に役立っていることは

合格後、希望していたグローバル部門に異動できました。会計と英語の両方使うようになり、勉強していたことがキャリアにつながったと思います。

Q9 これから合格を目指す方へのアドバイス

モチベーション維持と、時間管理の2つの点に気を付けました。

モチベーションが下がったときには、お茶を飲んで一息いれたり、他の人の合格体験記を読んだりしました。時間管理については、私の場合は育休中に勉強を始め、その後仕事に復帰しました。夫は海外単身赴任中でしたので、通勤中と子供が寝ている間や、子供を親やシッターに預けている間に勉強しました。子供が小さいので寂しい思いをさせているという思いもありましたが、夫が応援してくれており励みになりました。両親も初めは子供を預けて勉強するなんて子供がかわいそうといっていました。1科目合格したあたりから応援してくれました。

人生の節目にも根性でチャレンジ



Y.K さん

早稲田大学 2007年度卒業
勤務先：日系メーカー 経理部

2018年2月 USCPA試験合格（アラスカ州）

FAR：85点（2017年2月／1回目）、BEC：82点（2016年11月／1回目）

REG：85点（2017年11月／1回目）、AUD：80点（2018年2月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

学生時代に遊びすぎたことから、社会人になってからは断続的に英語や簿記の勉強をしてきました。その延長でMBAを目指していたのですが、費用対効果に疑問を持ち悩んでいたところ、ネットでMBA vs USCPAというサイトを見て、USCPAなら働きながら資格取得を通じて仕事に直結する勉強ができると考え、チャレンジしようと思いました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：日商簿記2級

英語知識：TOEIC®L&R TEST 920点

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

一番の理由は当時勤めていた会社の通勤途中にTACがあったからです。ある日思い切って帰宅途中にパンフレットをもらいに行き、その勢いで入学を決めました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

よかったところは、まず使用するテキスト・問題集です。Beckerの内容を基盤として必要十分な解説が日本語でもされているので、非常に分かりやすかったです。特にFAR/REGはTACテキスト・問題集だけで合格することができると内容になっていると思います。内田先生の補助レジュメもとてもよくまとまっていて、試験直前に毎日読み返すことで効率的に試験に臨むことができました。また仕事もプライベートも忙しい中、マイペースで勉強していたので、勉強に適した環境でフレキシブルにスケジュールが組める（DVD通学・自習室）ことに加えて、継続受講制度も役に立ちました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

前述の通り、DVD通学で受講し、合格までの学習期間は3年4か月かかりました。勉強時間はトータルで1,000時間弱だと思います。TAC入学直後に転職したため、無理せず一通り全科目の講義を受講してから必要単位を取得し本番に臨むという形を選び、最初の約1年は会社帰りや外出ついでにTACでDVDを観て勉強していました。ですが一通り講義を終えたところで、プライベートが忙しくなったこと、講義の内容を忘れてテキストを読み直したりする時間が必要となってしまい、結果的に3年以上かかってしまいました。他の方々も仰っている通り、講義と並行して単位取得や試験準備ができれば断然効率的だと思います。ただ、時間をかけて勉強したので内容を頭に定着することができたのと、何だかんだで勉強だけでなく仕事やプライベートも大切に結果の3年間なので、むしろよく頑張ったなあと自分をほめてあげたいです（笑）。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

（試験全般）各科目の試験日までの約4ヶ月間を以下の流れで勉強しました。いずれも試験範囲が広いので、多少荒くても得意な分野を作らないように満遍なく勉強することを意識しました。

1. TACテキストを読んで内容理解（一度読むだけでは理解できないことも多いので、暇な時間は眺めるだけでも良いと考えて、いつもテキストを持ち歩いていました）
2. TAC問題集を2～3回転（間違えた問題を覚えてしまうくらい繰り返す）
3. 試験日の2ヶ月前からTAC問題集と並行してBecker問題集のMCを毎日ランダムに解く（AUDだけBecker MC全問を2回転）
4. 試験日の1ヶ月前からBecker問題集のSimとAICPA Release問題5年分、Becker Mock examを1回ずつ解いて本番のイメージを持つ

（BEC）まずは17年4月の試験制度変更でもっとも影響を受けると言われていたBECを、変更前の16年11月に受験しました。ただUSCPAの勉強をスタートしてから2年近くすでに経過していて、当時は一発合格するにはねじを巻きなおす必要があると感じ、TACのBECゼミに参

加しました。あいまいな点をきっちり理解できたこと、まだ不慣れだったSimulationやWCの練習ができたこと、そして何よりゼミを通じて同じ目標を持って頑張っている方々に出会えたことでモチベーションを上げることができ、とてもよかったです。

（FAR）BECから3ヶ月後にFARを受験しました。単位取得の際にTAC問題集を何回転か終えていたので、試験前はBecker問題集を中心に勉強しました。これも他の方々が書かれていることですが、1科目目を既に受けていたことでSimulation等の感度を持つことができ、2科目目以降はより効率的に準備を進められたと思います。

（REG）FARを終えてから9ヶ月後にREGを受験しました。内容をすっかり忘れていたのでテキストを理解するところから始めて、REGではTAC問題集を完璧に解くことができるまで繰り返し、最後の1ヶ月でBeckerのランダムMCとSimulationで仕上げをしました。他の科目と比べても特に暗記内容が多いので、短期決戦で準備をしたほうが良いと感じました。

（AUD）REGを終えてから3ヶ月後に最後のAUDを受験しました。TAC問題集は何となく問題数が少なく不安だったので、この科目だけは最初からBecker MCを全問解いていきました。最後の科目ということで疲れもありましたが、AUDの内容は会社の日常のプロセスとも密接に関わっているので、自分の会社に置き換えて考えることでモチベーションを保ちながら勉強するよう心がけました。ちなみに僕の場合、本番であまり出ないと聞いていたSamplingの問題もがつつり出ました...、得意な分野を作らないように満遍なく勉強することがやはり大切だと思います。

（その他雑感）MCの難易度変化は明らかに感じる科目とそうでない科目と両方ありました。結果的に全て合格していたので、あまり気にする事はないと思います。また新試験方式はSimulationの配点が増えています。結局問われているポイントはMCと大きく変わらないと思うので、やはりまずはMCで基礎を固める方が近道だと感じます。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

特に合格までの最後の1年間はプライベートと仕事が大荒れで本当に嵐のようでした（笑）。まずBEC受験1カ月前に彼女にプロポーズ、BEC試験当時は家族へのあいさつ等が目白押しで、思い返してみると勉強どころではなかったです。その後、年が明けて17年1月に引越・入籍してその2週間後にFARを受けました。そのあと子供が生まれてその直後から半年間の海外出張で日本を離れましたが、2泊3日の強硬日程で日本に帰りREGを受験しました。そして18年1月に遅れて結婚式を挙げ、その翌週に最後のAUDを受けました（笑）。人生の一大イベントが一気に押し寄せたような1年でしたが、隙間時間をフル活用し、最後は意地と根性でやり遂げました。この経験が大きな自信になったと同時に、こんな僕を暖かく見守ってくれた奥さんには感謝の気持ちでいっぱいです。

Q8 勉強したことが仕事に役立っていることは

USCPAの学習内容は仕事でも大いに役立っています。会社では経理部で主に海外子会社管理を担当し、管理会計・財務会計から税務・内部統制等、広く深くカバーする必要があるのですが、USCPAの勉強を経て自分の判断に自信を持つことができるようになりました。また相手先にも海外の会計士が多く、今までよくわかっていなかった会計用語が実は日常的に使われていたことに勉強を通じて改めて気づくこともあったりして、全然理解していなかったことにショックを受けたりもしました（苦笑）。

Q9 これから合格を目指す方へのアドバイス

とにかく粘り強く続けることが何よりも大切なことだと改めて感じます。僕も一度プロポーズをして結婚を決めたあたりで、USCPAどころではないと諦めかけたのですが、ダメもとで受けたBECにたまたま受かってしまったことでお尻に火が付きました笑。何とか一つ目の科目に合格できれば、その方法をベースにして取り組むことで自然と全科目合格への道筋が見えてくるのではないかと思います。偉そうな事は言えないのですが、いつか必ず合格できると思いますので、ぜひ諦めず突っ走ってください！



5年間継続再受講制度の活用

S.H さん

勤務先：金融機関

2018年2月 USCPA試験合格（アラスカ州）

FAR：93点（2017年4月／3回目）、BEC：78点（2017年2月／2回目）

REG：79点（2018年1月／1回目）、AUD：75点（2017年9月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

当初は転職に有利になると思いチャレンジを決めました。2年間勉強を中断した後、再度仕事で必要となったため再チャレンジを決めました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：財務会計は簿記1級程度、管理会計は簿記2級程度、経理実務経験あり
英語知識：TOEIC®L&R TEST 700点台

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

値段や合格実績等も良く、自宅や会社から通いやすかったためTACを選びました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

テキストと問題集で合格レベルに達するほど大切な論点がわかりやすくまとまっている点がとてもよかったです。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

DVD通学を利用しました。当初2014年に講座申込を行い半年ほど学習しFARとBECを受験しましたが、仕事が忙しくフェードアウトしてしまいました。その後2016年夏頃に5年間継続再受講制度を利用し約1年半で合格できました。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

講義を一通り聞く→テキスト1周目→問題集1周目→テキスト2周目→問題集2周目→ベッカー問題集（2、3問とばしながら）1周→直前対策DVD→ベッカーオンラインでSim対策で約4か月に1科目ずつ受験しました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

2017年4月から新試験制度によりSim問題がとても重要になりました。特にAUDのSim問題は丸暗記だけでは対応できず、暗記+考える必要があり難しかった印象です。

Q8 勉強したことが仕事に役立っていることは

私の場合は仕事で使うためすべてが役に立っています。特に広く浅く基礎知識が習得できるため、仕事で新しい業務を担当してもイメージがしやすくなりました。

Q9 これから合格を目指す方へのアドバイス

この試験はきちんとやるべきことをやり、覚えるべきことを覚えて臨めば絶対に合格できます。私の場合は当初早く取得することを意識するあまり、試験日を早く設定しすぎてしまい、不合格となったことがあります。無理に早く受けようとせず、きちんと覚えたいうえで受験すれば大丈夫です、諦めずに頑張ってください。



80歳までの就業に向けて

梨本 光太郎 さん

1952年11月生まれ
勤務先：物流会社

2018年2月 USCPA試験合格（アラスカ州）
FAR：84点（2017年12月／1回目）、BEC：79点（2017年11月／1回目）
REG：77点（2018年2月／2回目）、AUD：75点（2017年9月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

TACで税理士試験の学習をしているのですが、税理士試験は8月の受験後、合格発表まで4か月間が空いてしまいます。

引き続きTACに通って生活のリズムを維持したかったため、新たな資格としてUSCPAを選び学習を始めました。他資格割引でUSCPA講座の受講料が割引になったことも1つの要因です。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：簿記論・財務諸表論

英語知識：会社に入って海外の仕事をしているうちに英語力は自然と身につけていた。

学習を始める際には、会計知識・英語知識ともにそこまで不安はありませんでした。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

一番の決め手は教材です。

USCPAの対策校はTAC以外にも数校ありますが、ガイダンスにも出席し比較をした結果、特に教材はTACが一番しっかりしてありました。

教材が充実していれば、くせの強い講師にあたってもマイペースで学習が可能だと考えました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

講師陣が良かったです。

特に宮崎先生に情熱を感じましたし、日本基準・米国基準・IFRS基準の会計の違いだけでなく、国による法律や文化の違いを学ぶことができました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

2016年10月から通学メインで一部の科目はDVDで学習をしました。

全科目合格が2018年2月です。

（2017年5月～8月は税理士試験のためUSCPAの学習は中断）

当初は、「2017年4月から始まる新試験の前に終わるぞ！」と思っておりましたが、学習を始めるうちにかなり厳しいスケジュールということが分かり全科目新試験で受験することにしました。

2016年10月～2017年4月で全科目のTACテキストと問題集を1回転させました。

2017年5月～8月は税理士の学習。

2017年8月後半からUSCPAの学習を再開し、「AUD」→「REG」→「BEC」→「FAR」の順で1回目の受験をしました。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

全科目、TAC教材+Beckerオンライン演習ソフトの中の、

Mock Examを2回分やりました。

新試験ということもあり、SIMは紙ベースの問題と本試験で大きなギャップがありましたが、結果としてはREG以外は紙ベースの教材メインで合格ができました。

REGは1回目で残念ながら不合格になってしまったため、BeckerオンラインのSIMを重点的に学習しました。

BeckerのSIMの量が多いため、その半分程度をこなすのが精一杯でしたが、なんとか2回目で合格できました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

一般的な手続きはスムーズに進んだと思います。

唯一焦ったのは、日本受験費用の支払手続きをしている途中で、PCのタイムアウトで画面が切り替わらないことがありました。

クレジットカードから引き落とされただけで日本受験がうまく申し込めないのかと思いましたが、再度時間を置いてログインしてみたら、御茶ノ水のプロメトリックで予約ができましたので、問題がなくて安堵しました。

また受験後のエピソードとしましては、最後のスコアはWeb上では確認できていますが、紙ベースでの結果は受験から2ヶ月経った今も届いておりません。

当初はLicense取得のためにワシントン州へのtransferも考えていましたが、様々なトラブルや処理が遅れる可能性があるため、今のところはアラスカ州での合格というステータスで良いかなと考えています。

Q8 勉強したことが仕事に役立っていることは

学習したことはこれから役立っていくと思っています。

税理士とも絡んできますが、租税回避、タックスヘイブンに興味のあるところですし、アメリカの所得税法、節税などの流れも良く分かるようになりました。

今後、国際タックスプランニングをやっていきたいと思っている中で、米国・日本・IFRSの3つの基準の違いを理解できたことは、本当に良かったと思っています。

Q9 これから合格を目指す方へのアドバイス

リサーチ問題は、試験対策としてはあまり点にならないと考えられているので時間をかけないことを推奨されていますが、キーワードを検索して当たればパッと答えられるので、個人的には大好きで一番最初に手をつけていました。

このような出題は、他の日本の資格では見たことがないのでとても新鮮でした。

また、米国ではなぜ寄付が多いのか等、いろいろと考える機会を得ることができました。

制度だけでなく宗教的な理由もあるのかもしれませんが、寄付の文化が進んでいるアメリカのような形もあるのだと勉強になりました。

USCPAの学習を通じて、そういった深みをのぞいていくのも良いなと思います。

みなさんも試験合格を目指して最後まで頑張ってください。



Becker Online 教材を覚える日々

渡邊 宏樹 さん

東京大学 2012年卒
勤務先：医薬品メーカー

2018年3月 USCPA試験合格（アラスカ州）
FAR：85点（2016年12月／1回目）、BEC：86点（2017年6月／3回目）
REG：75点（2017年6月／1回目）、AUD：76点（2018年2月／2回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

一定以上のファイナンス知識があることを一般に証明するため。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：日商簿記2級
英語知識：TOEIC®L&R TEST 915点

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

最大手であることから教材や指導方法が標準化されていて、合格に近いと思ったため。また各所の評判を拝見し、TAC教材をこなささえすれば必ず合格できると判断したため。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

FAR_内田先生の公会計のパート。通常の会計と大きく違う公会計ははじめてぶつかる壁だと思いますが、内田先生がまとめられた直前対策まとめは秀逸です。

TACを選んだ理由として挙げた標準化されている、という点では直前対策まとめテキストが全科目たいへんまとまっていて、密度の濃く分かりやすいものになっていました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

通信 1年半

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

とにかくBecker Online演習ソフトでMC（四択問題）、Simulation（総合問題）、Mock Exam（模試）を覚えるまで繰り返す、を徹底しました。

FAR

テキスト、講義、TAC問題集のみで始めは学習していたもののBecker Online演習ソフトソフトに移ったところ形式、難易度、言語に戸惑い正答率が上がらなかったため、上記のひたすらBecker Online演習ソフト繰り返しを行いました。7周はしたと思います。

BEC

完璧にできたと自信があっても74点で2回落ちるという経験をしました。

思い返すといずれもIT、WCに若干の不安を残しながら終えていたので、その2点を徹底的につぶした3回目に高得点で合格できたのだと思います。

REG、AUD

普段の業務で出てこないような語彙の暗記科目であり、直前対策まとめとBecker Online演習ソフトを行き来しながら繰り返しました。これもBecker Online演習ソフトの内容をほぼ覚えるくらいに行き詰りでしたが合格に至ることができました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

受けられるようになるまでに約3-4か月かかった印象。NIESでの学歴審査、単位取得にたいへんな時間、それとお金もかかりました。

Q8 勉強したことが仕事に役立っていることは

FAR、BECは普段の業務で使うことが多いので、日常的によく使う場面に出くわします。

AUD、REGに関しては部署によると思うのですが、私はほとんど使うことはありません。しかし、そこで培った英語力は業務のベースアップに繋がったと認識しています。

Q9 これから合格を目指す方へのアドバイス

合格率は各科目およそ50%と言われてはいますが、ネイティブが受験者の大半を占めていることを考えると日本人受験生の合格率はずっと低い試験です。また科目合格の期限が1年半しかないことも難しさを感じる一因ですが、英語力・会計知識を同時にアピールできる資格であるに加えてキャリアの選択肢も広がることは間違いありません。



働きながらも無理することなく合格できる試験です

松田 啓輔 さん

慶応義塾大学 卒業

2018年2月 USCPA試験合格（アラスカ州）

FAR：84点（16年11月／1回目）、BEC：82点（16年11月／1回目）

REG：78点（17年10月／1回目）、AUD：76点（18年2月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

証券アナリストなど会計に近い試験の勉強をしていたこともあり、USCPAのことは以前から知っていて興味をもっていました。会計と英語の両方を勉強することは今後のキャリアに有用だと考え、USCPA試験にチャレンジしようと思いました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：証券アナリスト第2次レベル試験合格
英語知識：TOEIC®L&R TEST 700点台

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

証券アナリストや他の資格でTACを利用していました。また、TACは日本の会計士や不動産鑑定士など会計資格に強いイメージがあったので、迷わずTACに決めました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

（講師）

どの講師も重要な論点は厚く、重要性の低い論点は時間をかけず、メリハリをつけて教えていただけましたので、勉強時間の短縮に繋がりました。

（教材）

重要な項目については日本語だけでなく英語表記もされていたので、問題を解く際に困らないようになっていたことがよかったです。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

通信で学習しました。2015年7月から学習を開始しましたが、途中で他の資格の受験や結婚などがあったため中断期間がありました。実質1年3カ月程度だと思います。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

すべての科目を通じて共通の学習方法としては、TACテキストとTAC問題集を最も重点的に学習しました。Multiple Choice（四択問題）については基本的にTACテキスト、TAC問題集で学習しました。Simulation（総合問題）は苦手意識があったので、直前対策教材で学習することとBeckerオンライン演習ソフトのSimulationをすべて解くようにしました。

学習時間は平日の夜に1～2時間、土日は6～7時間ぐらい学習しました。

（FAR：財務会計）

毎回講義を受けるごとにその講義範囲のTAC問題集を行いました。最終的にTAC問題集はすべて理解して覚えるまで何度も繰り返しました。

Simulation対策は、直前対策を行ってからBeckerオンラインですべての問題を解きました。Multiple Choiceの対策は、一部Beckerの紙の問題集を使用しましたが、ほぼTAC問題集のみでした。

（BEC：企業経営環境・経営概念）

基本的な学習方法はFARと同じです。ITとECO（経済学）はMultiple

ChoiceについてTAC問題集だけでなく、Becker教材を使って厚めに問題を解きました。MA（管理会計・財務管理）とCG（コーポレートガバナンス）はほぼTAC問題集のみでMultiple Choiceの対策を行いました。

Written Communication（記述問題）の対策については文章の書き出し、よく使う言い回し等についてすぐに書けるように練習しました。また、主要論点について英語で短く纏めたものを作ってプリントアウトし、暗記するようにしました。主要論点に絞っていたため、あまり細かなものまでは作りませんでした。

本試験では知らない論点も出ましたが、そうした問題については空白にせずに部分点狙いで書きました。

本試験を受けてみて、Written Communication（記述問題）については、こなれた英語を書かなくても点数は取ることができるのではないかと感じました。

なお、BECは、私が企業に勤めており、ある程度の前提知識があったため他の科目と比べあまり勉強に時間をかけませんでした。

（REG：諸法規）

この科目も基本的な学習方法は同じです。Multiple Choiceの対策はほぼTAC問題集のみで、Simulation対策は、直前対策を行ってからBeckerオンラインですべての問題を解きました。

この科目の受験から新試験になりました。新試験から追加されたDocument Review Simulationも出題されましたが、難しい英語表現も少なく読む量が多いとは感じませんでした。BeckerオンラインでSimulationを解き、慣れておけば難しいということはないと思います。

（AUD：監査および諸手続き）

この科目も基本的な学習方法は他の科目と同じです。

ただ、AUDについては英語を特に正確に読み取る必要がありますので、この科目だけはMultiple Choice対策としてBeckerの紙の問題集を全問解きました。問題を解いていく過程で、知らなかった言い回しや誤解していた言い回しなどをメモしておくことで正確に文章が読むことができるようになり問題を正確に解くことができました。

Simulationについては最初戸惑いましたが、Beckerオンラインを繰り返して慣れておけば本試験でも得点できると思います。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

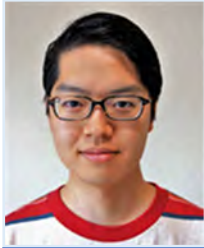
受験手続についてはよく言われているようなトラブルはなくスムーズに手続することが出来ました。

本試験のエピソードとしてはAUDを受験した際に、パソコンにエラーが出て問題が解けずにあせりましたが、すぐに試験センターの職員の方がエラーを解除してくださりました。なおエラーの間、試験時間が進むことはありませんでした。

また、新試験から途中15分の試験時間の進まない休憩が取ることができるようになりましたが、ここでは15分目一杯休憩しました。

Q9 これから合格を目指す方へのアドバイス

USCPAは通常1年程度は学習に要する試験だと思います。家族の同意を得ておく等学習環境を整えてから勉強を始めることをお勧めいたします。試験については全て完璧にしなくても合格できますので細かいところまで気にせず勉強することが大事だと思います。



社会人でもちゃんとやれば確実に合格できる資格

高橋 潤 さん

1988年3月生まれ
東京大学文学部 2011年卒
勤務先：非鉄金属メーカー

2018年6月 USCPA試験合格（アラスカ州）
FAR：87点（2017年2月／1回目）、BEC：82点（2017年3月／1回目）
REG：81点（2018年2月／2回目）、AUD：87点（2018年6月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

- (1) キャリアアップの為に専門性を身につけたかった為。
- (2) 将来、海外(特に北米)駐在した際にUSCPAの肩書があると、ローカルスタッフからある程度の信頼を得やすいと考えた為。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：簿記2級(但し、経理実務経験は1年のみ)
英語知識：TOEIC 925点

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

TAC通学で公認会計士に合格した友人・知人が数人おり、会計に強い予備校というイメージがあった為。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

- (講師) 退屈にならない分かりやすい説明
- (教材) 量・質ともにちょうど良かった。
Beckerはスマホ/タブレットでいつでも演習できるので最高！
(カリキュラム)
TAC問題集を2週すればスムーズにBecker演習ができるようなレベルになっており、やり易かった。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

通信。
FAR 250時間、BEC 125時間、REG 250時間、AUD 125時間、合計750時間。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

(全般)
講義DVD1.5倍速でTACテキストを理解→TAC問題集2週→Becker演習2週→Becker MCで各Sectionで正答率80%超になるまで演習→過去問(10年分)/Mock Exam Becker演習は通勤中、昼休みにタブレットでやりこみました。

(FAR：財務会計)
簿記2級で基礎知識はあったので、取り組み易かった。
試験まではひたすら仕訳をインプットしました。
取っつきにくい公会計は内田先生の直前対策まとめに書き込みをして、インプットしました。

(BEC：企業経営環境・経営概念)
管理会計は簿記2級レベルなので取り組み易かったです。
IT等、暗記科目は割り切ってやりました。
Written Communicationは対策方法が分からなかった為、MCでの正答率を向上させることに注力しました。

(REG：諸法規)

この科目が難関で1回目は74点で落ちました。

1回目の落第要因としては下記と反省。

- ・ MC正答率が不十分。
- ・ MCで2時間ほど費やしてしまい、SIMの時間が短くなり、意外に細かい論点が出て、パニックになっているうちに終了してしまいました。

2回目に向けては下記を対策して合格できました。

- ・ 直前対策まとめにBeckerでミスした論点を書き込んで、インプット。コンスタントにMC正答率80%超になるまでBeckerをやりこみ。
- ・ 時間配分をMCで1.5時間以内とし、SIMをじっくり解き、部分点で稼ぐ

(AUD：監査および諸手続き)

- ・ 緊急入院し勉強中断せねばならない時期が数カ月あった為、FAR/BECのExpireが間近になり、非常に焦りました。まとめノートを作り、頭の整理を行いました。
- ・ 内容はそこまで難しくありませんが、英単語の難易度が4科目で最難関なので、英単語帳を作成しました。
- ・ 本試験は過去問も3年分しか解けておらず、対策不十分でしたが、時間配分に注意し、SIMをじっくりやった結果、合格できました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

1歳の娘の夜泣きでほとんど眠れない中、AUD受験したところ、MCのTestlet2でものすごい睡魔に襲われ、心が折れて合格を諦めそうになりましたが、諦めずに最後までやり遂げました。

Q8 勉強したことが仕事に役立っていることは

事業部の事業企画(Business Planning)をやっておりますが、会計/財務マターの業務がスムーズにできるようになりました。

Q9 これから合格を目指す方へのアドバイス

1.5年での合格を目標に14年12月にTACに入学しましたが、結婚・異動を機に勉強時間が確保できなくなり、半ば受験を諦めてしまっていました。

生活が落ち着き始めた時期に、過去の合格体験記に「まずは1科目合格を！」と書かれているのを見て、とりあえずFARだけでもまずは受けてみようとしたことで、軌道に乗り始めました。

本試験受験までは出題範囲が広く、ビビってしまいましたが、まず1科目受けることで「これならなんとかなりそう」という感覚が分かります。

これから学習をされる方も今学習されている方も、TAC&Beckerでやりければ絶対に合格できると信じて頑張ってください。



夢がようやくカタチになって、一步前進

高比良 聡子 さん

長崎大学 経済学部
税理士事務所開業
税理士、CFP

2018年6月 USCPA試験合格（ワシントン州）
FAR：87点（2017年7月／1回目）、BEC：88点（2018年1月／1回目）
REG：86点（2017年1月／1回目）、AUD：86点（2018年6月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

もともと英文会計に興味があり、税理士試験合格の直後に英文会計実務講座の通信教育を1年間受講しました。その甲斐もあり、東京の外資系専門の会計事務所に転職し、会計・税務と英語の仕事に携わることができました。その頃、USCPAの受験を考えたことはあるのですが、当時は国内受験ができず、資格がなくても業務に支障がなかったことから、チャレンジには至りませんでした。その後、福岡に戻り、税理士事務所を開業して、英文のWritingを趣味レベルで続けていました。次第に、英文会計の経験を活かせないか、何らかの形にできないか考えるようになり、今はUSCPA試験の国内受験が可能になっていることを知りました。時間の自由がきく今がチャンスだと思い、USCPA試験にチャレンジすることを決めました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：税理士試験の会計科目（簿記論・財務諸表論）合格
英語知識：TOEICスコア920点

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

Becker教材が良さそうだったので、TACを選びました。過去にも税理士試験の最後の科目やCFPの模試などでTACを受講して、合格に確実に結びついていることも理由です。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

最も良かったのは、Beckerソフトの新試験制度（2017年4月～）や本試験操作画面変更（2018年4月～）への素早い対応です。Beckerソフトをフルに活用することが合格へのカギだと思います。MC問題やTBS問題だけでなく、インプットではUnit outlinesやモバイルフラッシュカード、アウトプットではSkills practiceのExampleも利用しました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

Becker30コースの通信です。学習期間は2015年10月から2018年6月の2年8ヶ月です。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

科目の受験順序は、自分が取り組みやすいものからスタートし、REG→FAR→BEC→AUDという順序にしました。REGは旧試験制度、FAR・BEC・AUDは新試験制度での受験でした。受験地の大阪への交通費がかかるので、1回の受験で済むように、できるだけ完成度を上げる作戦にしました。

REG：TAXは最も馴染みのある分野で、計算も暗記も苦になりませんでした。内田先生のまとめがとても役立ちました。それに倣って、BLや他の科目でも必要に応じて自分でまとめを作りました。

FAR：会計も馴染みのある分野ですが、計算が多いので、Beckerソフトでスピードアップを心掛けました。

BEC：4科目の中でもBECのWCに最も力を入れました。専門用語を使って英文を書くわけですから、より深く正確に暗記することが必要になります。BeckerソフトのUnit outlinesの重要項目を暗記し、暗唱とタイピングの両方でアウトプット練習を行いました。

AUD：実務で携わったことがない分野なので最初は不安でしたが、これまでの3科目を通じてコツが少しずつわかってきたので、思ったよりも効率的に学習できました。全体の流れを意識しながら、BeckerソフトのUnit outlinesを繰り返し読みました。TBSはBeckerソフトのTBS問題やSkills practiceのExampleなど多くの問題を何回も解いて慣れるようにしました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

NIESの学歴審査で、日本の大学での会計単位が全くカウントされていないので、NIESにメールで問い合わせしたところ、すぐに訂正してくれました。それ以外は、受験手続では特に問題はありませんでした。

試験直前は、ベストコンディションで本試験に臨めるよう、体調管理に気を配りました。本試験は4回とも福岡から大阪への日帰り、リスクはありましたが、幸い4回とも何事もなく受験できました。本試験中は、あらかじめ決めた時間配分を守る、最後まで諦めない、といったことを自分に言い聞かせました。4時間の試験はかなり消耗するので、15分の休憩で体を動かしたり、甘いものを食べたりして、リフレッシュするようにしました。

Q8 勉強したことが仕事に役立っていることは

合格がゴールではないので、これから仕事にどう活かすか考えていきます。

Q9 これから合格を目指す方へのアドバイス

自分の強みを活かし、弱みにうまく対応すること。自分に合った受験計画を立て、細かく修正していくこと。18ヶ月という縛りがある短期決戦なので、気力と体力を維持すること。受験勉強でも本試験でも最後まで諦めないこと。

日本の資格試験や検定試験とは勝手が違うので、戸惑うこともあるかもしれませんが、勇気を持って前に進んでください。きっと自分の財産になりますよ。



USCPA合格までの道のり

酒井 乙 さん

1969年12月生まれ
Southern Methodist University,
TX, USA 2003年

2018年6月 USCPA試験合格 (Washington州)
FAR : 85点 (2018年5月/1回目)、BEC : 78点 (2018年5月/1回目)
REG : 78点 (2018年2月/1回目)、AUD : 80点 (2018年6月/2回目)

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

以前の勤務先にて、いろいろあって休職することになり、時間が出来ました。

そこで、「何か新しい学びを探そう」と決意したのですが、いつ仕事が再開になって大変になるかわからない状況だったので、「今まで全く学んだことのない事だと、一度中断すると再開が大変だろう」、と思い、「新しく学べる内容ではあるが、ある程度仕事での下地がある」もので探したところ、USCPAが最適だろう、との結論に至り、始めてみました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：JGAAPでの経理・財務・税務を経験していますが、10年以上前です。

英語知識：業務で日常的に使っており、全く抵抗はありませんでした。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

TACともう一社を比較しましたが、説明会での説明が分かりやすく、やる気にさせてくれたので、迷わず選びました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

講師の先生方の、「早すぎず遅すぎず」の説明スピードが心地よく（通常スピードで聴きました）、DVDを視聴するだけでも、かなり知識を定着できたと思います。また、出るポイントとそうでないポイントをはっきり区別しているので、「ここをやればいいんだ」という安心感をもらえたと思います。テキストもまとめノートも、本当によくまとまっていて、全て頭に入れておけば、「バッチリ！」な内容でした。これに、時々、辞書代わりにBeckerのテキストを参照すれば、「完璧！」だと思いました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

Web通信です。2016年9月から開始し、途中、転職や退職、私の病気や妻の出産などのライフイベントが重なり、何度も月単位で中断を余儀なくされたため、正味の学習期間は1年4ヶ月程度です。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと/科目別）

FAR、BEC (MAとITのみ)、REG (Taxのみ)、AUDの順でDVDを一通り視聴して、さらっとテキストの問題を解いて、BU単位試験に臨みました。その後、記憶が新しいREGとAUDを先に受験することに決めました。そこで、未視聴の

BLをこなしてから、REG/AUDのTACテキストの問題と問題集を2回転こなした上、REGでは、トピック毎にA4用紙1から2枚程度にまとめたマイノートを沢山作り、頭の中でのポイントの整理を図りました。

FARとBECは、ひたすら繰り返しの演習ありき、と考えていたので、TACテキスト問題と問題集を3回転こなした上、過去問やBecker OnlineのProgress Testも利用し、Mock Examも解いて、試験に万全の備えが出来るよう努めました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

NTSの取得まで、2か月以上を要してしまいました。一向に動きがないので、何度も自分でNASBAへ問い合わせ（催促）しましたが、それをしなければ、もっと時間がかかっていたと思います。

試験は、2回に分けてハワイで受験しました。内一回は、家族旅行を兼ねて、という余裕を見せていましたが、その実、試験日まで気が気ではなく、かなり疲れました。また、エアコンが利きすぎていて、Testlet3後のBreakまで我慢できず、何度もトイレへ立つ羽目になりました。

Q8 勉強したことが仕事に役立っていることは

以前の職場はUS GAAPだったのですが、“FASB”の意味すら分からず、会計基準の一つとして、仕事に適用していたのが、今は、その裏にある組織や、理念、Code体系まで理解できるようになり、「ただ業務をこなす」から、「この業務の意味は」をしっかりと考えることが出来るようになったと思います。また、CGに出てくるCOSO ERMは、ビジネス戦略を論理的に組み立てるためのガイドラインとして、特に中長期計画を策定するときに有効だと感じました。

Q9 これから合格を目指す方へのアドバイス

TACのテキスト、問題集をしっかりとこなせば、合格点は取れると思うのですが、Becker Onlineが予想以上に使えるソフトでしたので、これを積極的に利用することで、試験前に大きな自信を得ることが出来ると思います。

最大の問題は、やはり多忙な中で如何にモチベーションを維持できるかだと思います。私の場合、前述の通り、試験勉強を始めてから多くのライフイベントに見舞われ、何度も受験を止めようか迷いました。しかしそんな時、妻が「何があっても、これだけは絶対合格まで諦めないようにしましょう」と励ましてくれました。ですので、合格できたのは妻のお陰だと思っています。手前味噌ですが、応援してくれる味方を誰か一人でも見つけると、勉強のモチベーションが大きく変わると思います。



急がば回れの姿勢を大切に

滝澤 容子 さん

勤務先：エネルギー業界

2018年6月 USCPA試験合格（アラスカ州）

FAR：76点（2016年12月／1回目）、BEC：79点（2017年2月／1回目）

REG：84点（2017年12月／2回目）、AUD：75点（2018年6月／2回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

北米の資源投資に関する業務を担当していた際、尊敬する上司がUSCPAホルダーであったことから試験に興味を持ちました。また、男性優位の会社の中でキャリアアップするためには、ある程度専門性のある知識を習得するだけでなくそれを資格等の客観性のある指標で示す必要があると感じ挑戦することにしました。

written communicationは前日にレポート形式を確認した程度でしたが、本番ではこなれた英語を書くことよりも、キーワードをなるべく多く散りばめ確実に点を取ることを心がけました。

REG：basisに苦手意識があったため、basisの問題は毎日解きました。本番ではTBSでbasis問題が多く出題され、得点源になりました。Business Lawは配点こそ低いものの、仕事で扱うことの多かった英文契約書の体系理解に役立ちました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：簿記2級

英語知識：TOEIC®L&R TEST 960点

AUD：TBSで詳細な仕訳を問う問題が出てきて焦りました。この科目は語学力が無いと正しい解答にたどり着けない問題が多い印象だったため、Becker問題で慣れるようにしました。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

会社とTACが提携していたことからTACを選びました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

大学時代に会計単位を全く取得していなかったため、受験資格を得るために単位認定試験を何度も受けなければなりません。また、留学をしていたため学歴審査では日本と留学先の双方の大学から成績証明書を発行してもらわなければならない、予想以上に時間がかかりました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

内田先生の税務教材は特に完成度が高いと感じました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

通信学習です。2013年頃一度学習を開始しましたが、諸事情で中断してしまいました。その後、異動をきっかけに学習を再開し、約2年弱で合格しました。

Q8 勉強したことが仕事に役立っていることは

会計や監査はもちろんですが、財務、法務、税務と学習範囲が幅広いので、これまで仕事を通じて何となく理解しているつもりになっていた部分についても、体系的に学び直す事ができ、知識と理解の整理に役立ちました。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

全般：

講義を1.5倍速で聴く→TAC問題集を解く→間違った部分のテキストを読む、気付きを書き込む→TAC問題集を再度解く→Beckerをオンラインで解くというサイクルを繰り返しました。最初の頃は、とにかく早く膨大な学習範囲を一回転終わらせたいと焦ってしまい、理解が不十分なまま問題を解くことを繰り返していたところ、感覚的に問題は解けるようになるものの、根本的な理解が抜け落ちてしまっていることに気がつきました。この知識の空洞化を防ぐためには、理解が不十分なところは面倒でも問題集からテキストへ立ち戻る急がば回れの姿勢が大切だと感じ、以来、いかに丁寧に勉強できるかを念頭に置き学習しました。

Q9 これから合格を目指す方へのアドバイス

社会人を長くやっていると何かを得るためには運やタイミング等も必要で、自分の思いや努力だけではどうにもならない困難な場面に直面することが少なくないと思いますが、この試験について言えば、地道な努力さえ続ければ必ず結果を得られると思います。毎朝出社前に喫茶店で勉強することを日課にしていたのですが、周りには同じように勉強している人が多く刺激を受けていました。勉強出来ることは色々な意味で幸せなことですので、是非楽しみながら取り組まれてみてはいかがでしょうか。

科目別：

FAR：試験前日は公会計の復習を集中的にやりました。

BEC：馴染みのある分野だったため、Becker問題を繰り返し解き正答率80%を越えたところで試験を受けました。

TAC合格体験記を読んでTACの教材を信じるのが合格への近道



Y.N さん

1969年12月生まれ
勤務先：監査法人

2018年4月 USCPA試験合格（ワシントン州）

FAR：80点（2017年8月／1回目）、BEC：78点（2017年10月／1回目）

REG：82点（2018年1月／1回目）、AUD：85点（2018年4月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

娘の中学受験があり、親としても一緒に受験に取り組むことで、娘の刺激になればという思いでチャレンジしました。現職が公認会計士、英語の自信はありませんがTOEIC®L&R TESTほどの難解な表現はないということで私でも手が届く資格と思いました。結果として娘の受験が終わった後も、寂しく勉強を続けることとなりましたが、初回受験でなんと合格できました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：公認会計士
英語知識：TOEIC®L&R TEST 735点

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

TACで公認会計士の資格を取っており、慣れ親しんだ教材に類似していると思い選びました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

TACの教材は、コンパクトにまとまっていると思います。効率よく合格を目指すのであれば、TACの教材（教科書と問題集）をひたすら、勉強することかと思えます。NPAやTAXでは、内田先生の直対まとめ、AUDの阿辺先生の講義レポートにある各章のまとめは、隙間勉強に使えるだけでなく、知識に横串を指すことができ知識の定着に有効なものでした。TACの講師陣は、個性に富み楽しく勉強ができました。特に草野先生の授業は知識の深みが感じられ、受験に対する気持ちを鼓舞していただきました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

DVDで学習をしました。
2017年5月～2018年4月上旬まで約1年間となります。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

資格試験の受験のコツは、覚えるべきものをいかに定着させ、アウトプットができるかということかと思えます。定着については、忘却曲線との闘いです。試験当日までに何回転させるかがカギです。それぞれ自身の方法があるかと思いますが、私はテキストを3回転させるほか、カードにまとめて通勤時間に繰り返し確認することをしました。暗記量もそれなりにありますが、単に覚えるのではなく、横串を指すことも重要です。単元別に覚えるだけでなく、共通事項を取りまとめることで記憶を整理することができます。特に覚えることの多いREGや様々な分野から問われるBECは横断的な勉強方法が有効で、いま問われている問題はどの分野からののか把握できればならないかと思えます。テキストの目次が重要と聞きますが、そういった意味でも、受験で優秀な方はテキストの目次を見て知識を整理できるのかもしれない。わからないことがあれば、TACの質問メールで確認し、知識の正確性を高めました。

アウトプットは、ひたすらTACの問題集を信じて何回も解くだけです。最初の1回目はテキストを見ながらでも精々6割程度でした。知識もないことありますが、英語の表現に惑わされる部分も多いです。例えば、否定文の問題を肯定文と勘違いするとか、ひどい状況です。最終的には90%程度取ればいいのかと思えます。問題、解答を覚えてしまうほどの相当回数解きましたが、90%以上をとること、初心をもって真剣に解くことが大切だと思います。

BECKERのオンライン演習は、タイムマネジメントと操作慣れという意味で非常に重要です。試験の1か月前に取り掛かっていました。全部解くというよりは短い時間で解き切るということと、操作慣れを重点に行います。ランダムなMCをタイムマネジメント（自分は18問を25分程度）をしながら解きます。ランダムでの解答は重要です。単元別に解いていると本試験はランダムで出題されるため解答時間をかけてしまう可能性があります。SIMは時間もなかったの、適当に選んでタイムマネジメントをしながら進めました。基本的な知識があればSIMは当別な対策はいらない感じでした。BECKERの模試（MOCK EXAM）については操作慣れのために必ず受けてください。模試は試験直前に2問×2回転させました。BECKERの模試は難しいので2回目まで75%をとって自信をつけるという感覚です。難しい問題は捨てる訓練も兼ねた方がよいかもしれません。また、オンライン演習の時だけは、下書き用紙としてプラ板を自作しマーカーで書く訓練もしました。本試験では下書き用紙は紙ではなく、A4のプラスチック製の下敷きのようなものと細めのマジックが与えられます。計算過程が重要な問

題は下書き用紙上での整理の仕方がカギになります。シャープペンシルで書く感覚とマジックで書く感覚は全く異なるため慣れが必要です。細かな字は書けないので注意してください。そういった意味でも問題にあった自身の解答過程の型を作った方がよいです。

英語力は、基本的な文法ができれば問題ないです。わからない単語はすべて単語カードを作成し、通勤時間に確認（英語から日本語のみで十分）しました。特にREGでは専門用語が多くて単語を覚えるのに苦労しました。

社会人としての受験生活はかなり厳しいです。平日は夜の付き合いも多いと思います。そんな中でも、隙間時間を利用して、継続することかと思えます。受験日を定め、逆算した計画を立て、遅れを修正しつつ対応しました。特に土日は平日の遅れを取り戻すため老体に鞭を打って頑張りました。多い時には1日に300問以上の問題を解くこともありました。平日は1時間程度、休日は10時間程度が私の勉強時間でした。

制度改正は要注意です。TACのHPをよくチェックしてください。私は、本試験1週間前にBECKERのオンラインソフトを演習中に気づき慌てた経験があります。

FAR：最もボリュームが多い科目です。5月から勉強し始め8月の夏休みに受験をしました。最初の2か月で講義を聞きながら、TACの問題集を1回転させました。その後、受験までにTACのテキストと問題集をそれぞれ2回転させました。TACの問題集の正答率は初回76%3回目93%という感じです。各単元の論点についてはカードにまとめ、通勤時間の電車の中でひたすら暗記をしました。NPAには苦労しましたが内田先生の直対まとめは、社会人で時間がないところで、非常に時間の節約となりカードは作成せず、直対まとめをそのまま暗記しました。

BEC：ボリュームは少ないのですが幅広い知識が必要です。7月から勉強し始め10月の中旬に受験をしました。最初の2か月で講義を聞きながら、TACの問題集を1回転させました。その後、受験までにTACのテキストを3回転、問題集を7回転（初回70%、7回目95%）させました。WCについては草野先生の講義中の助言を聞いて、使える表現を書き出し10問ほど自分で良問を作成し、土日にPCで英作成する訓練をしました。本試験ではその10問程度を組み合わせで解答できました。各単元の定義、利点、欠点等、基本を押さえた問題を自分で作成すれば問題はないかと思えます。BECも各単元の論点をカードにまとめ、通勤時間の電車の中でひたすら暗記をしました。BECKERのオンライン演習ではTACでは取り扱っていない分野があり、思うように点数が取れず悩みました。解答できなかった分野に関してはBECKERのテキストを読んで、カードを追加作成して応急処置をしました。BECのみTACだけでは不安だったので、BECKERへ手をつけました。

REG：最も暗記量が必要な科目です。8月から勉強し始め1月の中旬に受験をしました。最初の2か月で講義を聞きながら、TACの問題集を1回転させました。その後、受験までにTACのテキストを3回転、問題集を7回転（初回62%、7回目94%）させました。暗記についてはカードも作成しましたが、税法についてはNPAと同様に内田先生の直対まとめを利用し、毎日の通勤時間を利用して定着させました。申告書のフォーム集についても毎日確認して記憶に留めました。

AUD：最もボリュームが少ない科目です。11月から勉強し始め4月の中旬に受験をしました。最初の2か月で講義を聞きながら、TACの問題集を1回転させました。その後、受験までにTACのテキストを3回転、問題集を8回転（初回67%、8回目95%）させました。暗記については阿辺先生の講義レポートにある各章のまとめを利用し、毎日の通勤時間を利用して定着させました。レポート集は自作で、テキストをコピーしたり、TACのレポート集を利用したりして作成し、毎日の通勤時間を利用して確認しました。AUDは、解答の選択肢を選択するにあたって迷う問題が多く感じました。不安だったのでTACの問題集を8回転させ、最善の選択肢を選ぶ解答力を養いました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

電卓は試験会場で借りることができるので是非利用してください。PC上の電卓では時間のロスにつながります。試験当日、何が起るかわかりません。試験会場へは余裕をもっていくことをお勧めします。受付をするとそのまま手続が進み、順番に試験会場であるPCルームに入ることとなります。試験は指定時間での開始というよりは、PCルームに入ってから、自身でPC操作をしてそのまま開始となり、慌ただしい感じでした。PCルームに入る前には身体検査もあります。PCルームに入る前にペンとメモ用紙をもらいます。その時にティッシュをもらい、消しゴム代わりにしましょう。

Q9 これから合格を目指す方へのアドバイス

社会人として時間がない中、他の教材に手を出さずTACの教材を信じるのが一番です。置いたらTAC合格体験記を読んで軌道修正すべきか考えるという繰り返しでしたが、1科目合格後は、自分自身のやり方を信じて進めました。

アロマセラピー検定に導かれたUSCPA



岡本 航 さん

1989年12月生まれ
京都大学 2008卒
勤務先：総合商社 2017年からインド駐在中

2018年6月 USCPA試験合格（アラスカ州）
FAR：91点（2017年9月／1回目）、BEC：83点（2017年12月／1回目）
REG：85点（2018年6月／1回目）、AUD：86点（2018年6月／2回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

新卒で営業経理として業務をこなしていたものの、ただ業務をこなすだけでなく、体系的な知識を身につける必要性があると、入社以来不安に似たようなものを漠然と感じていました。そんな中、ある日隣に座っていた事務職のお姉さまとアロマセラピー検定を受けようという話になり、検定を受けるための勉強を会社の業務終了後にこなす生活が始まりました。そのお陰で業務後に勉強する習慣が付き、アロマセラピー検定合格後、入社以来漠然と抱いていた不安に向きあおうと思ひ立ち、チャレンジにいたりしました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：簿記2級/経理実務経験あり
英語知識：TOEIC®L&R TEST 700点程度

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

テキストがしっかりしている、と評判だったためです。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

特にtaxの内田先生はわかりやすく良かったです。直前対策もラインマーカーで何が何だか分からなくなるほど使い倒しました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

海外駐在が始まるのが想定されていたので、DVDで受講しました。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと/科目別）

勉強はDVDを2倍速で視聴し、問題集をこなすことに力を注ぎました。

問題集に関してはWEBとアプリのBECKER問題集のみを使用しました。

結局、合計の勉強時間は1,070時間程度でした。社会人で時間を作るのはなかなか難しいので、振り返ればもっと効率的に受験できればよかったとちょっと反省しています。特にFARは最初の試験ということもあり準備に準備を重ね過ぎました。各教科の勉強時間はFAR 408h/BEC 189h/AUD 235h/REG 240hとなりましたが、FARは時間をかけすぎて、実際試験の際には1時間半程度試験時間が余るという状態でした。最初は感覚が難しいと思うのですが、試験は通る

のが目的なので、過ぎたるは猶及ばざるが如しということを意識するのも大事だと思います。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

前述のようにFARは勉強し過ぎましたが、AUDは130時間程度の勉強で一度試験に臨み失敗しました。ただこの際のAUDの試験の出来は、信じられないくらい完璧にできたという感触でFAILの通知を受けたときは信じられませんでした。日本人にはAUDが難しい、と言われていたようですが、まさにそれで、できたと思っただけだったようです。上で過ぎたるは~と言っていますが、日本人には難しいともいわれているようですので、個人的にはAUDは時間の許す限り重箱問題も確認しても良いのかなと感じました。

ちなみに試験はドバイ・アブダビ・日本の三拠点で受けました。インド在住の方はドバイ・アブダビでも受けれる（飛行機代が日本に行くより安い！）ので、そちらの国で受けるのもありかと思います。

Q8 勉強したことが仕事に役立っていることは

体系的な知識を学べたのはとても良かったと思います。また、なんだかんだ試験をpassした、というのが精神的には自分を支える何かになっていると思います。

Q9 これから合格を目指す方へのアドバイス

過ぎたるは猶及ばざるが如しの精神で、少ない時間を有効に使うのが吉と思います。

また、初期投資は結構な金額になる（試験を受けだすとちょっとかかる。。）と思いますが、受講をするかしないかのところまで考えているならば、勢いで始めた方がいいと思います。たぶん、お金を払えば、やらなきゃ、という気持ちが芽生えると思いますので。

道は開ける



K.O さん

1978年生まれ
青山学院大学 2001年卒業
勤務先：証券会社 法人営業（上場企業担当）

2018年9月 USCPA試験合格（ニューハンプシャー州）
FAR：79点（2018年6月／2回目）、BEC：76点（2017年3月／2回目）
REG：75点（2018年3月／2回目）、AUD：77点（2018年9月／3回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

勤務先の投資銀行部門に従事するなか、財務会計の理解の重要性を再認識、業務上では、幅広い分野における知識に加え、顧客からの多方面に及ぶ質問に対して、その場で瞬時に判断が必要とされるなか、英語での広域な学習内容を学ぶ有効性を強く感じた為です。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：日商簿記2級、CFP®
英語知識：TOEIC®L&R TEST 700点程度

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

過去にTACで税理士資格の学習経験（一部）があり、教材と講師のクオリティの高さを認識していた為です。受講に際しては、念の為、もう一社を体験受講したものの、TACの講師としてのプロ意識の高さと情熱を強く感じ受講することを決めました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

他校に比べ、講師が試験内容のみならず、周辺領域の知識を有していることに加え、J-GAAP（日本基準）についても十分に理解されていることから、講義中にその比較も取り扱っていただけることで、業務上日本の上場企業を担当している私にとって大変有益でした。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

通学（DVD）
学習期間は、実質4年程度（途中、海外赴任による中断あり）

Q6 合格までの学習法（一般的なこと／科目別）

学習は、週末にDVDにて講義を視聴するスタイルで受講開始したものの、平日は早朝出勤、深夜帰宅、接待等で正直言って全く学習時間が取れる余地がありませんでした。週末に休息を取る必要性がありながらもTACに通い続けた為、心身共に疲労感が溜まる日々が続きました。今感じることは、その都度何とか工夫して復習時間を確保したうえで、インプットとアウトプットの反復により知識の歩留まりを高めることができれば効果的であり、それができればもう少し合格までの学習期間を短縮できたのではないかと、と思います。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

受験までの手続は比較的スムーズに進みました。当初は慣れない海外への書類提出で少し戸惑ったものの、特にストレスに感じたことはありませんでした。学習内容は、教材のボリュームが当初の想定以上だったので、先ずは全体感を掴むべく、一旦通して全科目の受講をDVDで進めましたが、これが大きな間違い（失敗）でした。

仕事の都合で安定的に受講できず、復習も殆ど実施しないままに全体を一周できた頃には、初期の受講内容が全く曖昧になってしまい、結局もう一回教材を読み直したうえで問題集を解くという、今思えば非効率な学習対応となりました。それでも何とか家族の理解を得ながら体力を振り絞って一般的なFAR→BEC→REG、という順番で合格をコツコツと続け、AUDを残して3科目合格の状態でのロンドン赴任が決まり、残り一科目の状態での海外赴任生活を開始。日本からの教材配送を受け取り次第、学習を再開しましたがロンドンでは受験ができなかった為、最後の受験とする覚悟のフライトでNYへ向かいましたが、取れ無く73点で受験失敗、合格までもう一歩のところまで手が届かず失意のどん底に陥りました。それと同時に合格していた科目も殆ど失効し、自分の情けなさや妻と息子に対する罪悪感で一杯となりました。その後、駐在生活を終え日本に帰国。暫くして妻から「もう一度頑張ってみたら」と背中を押してもらい、学習を再開しました。それから1年半で何とかギリギリの成績で全科目合格を果たし、今は心機一転、次なる目標を探し始めているところです。

各教科の受験内容は、以下の通りです。
FARは、やはり馴染みのない公会計に苦戦しましたが、TACの教科

書を熟読し繰り返し問題を解きました。企業買収に伴う仕訳、BS影響の計算等は日常業務と非常に直結しており、大変学習の意義がありました。

BECは、以前に簿記2級や税理士で管理会計を学んだ経験があるのと、経済学やコーポレートガバナンス等については同様に日常業務で扱う内容でしたので、比較的スムーズに理解が進みました。

REGは、Business Law（企業法規）の範囲が広いのに加え慣れない英単語の多さに苦戦致しました。

AUDは、試験後に全く手応えと結果が一致せず、受講生の多くがコメントしているように日本人にとっては一番の難敵だと思います。

まして、新試験制度では、かなりの長文問題が出題されるなか質問内容を理解することから始まります。安定的に合格するためには、それなりの語彙力は持っていた方が有利だと感じます。

Q8 勉強したことが仕事に役立っていることは

投資銀行業務に従事、これまで様々なセクターの上場企業を担当しましたが、財務会計は共通して必要な知識であることに加え、業務上顧客からは様々なコーポレートアクションとそれに伴う財務影響の想定について質問を受ける機会が多く、USCPAで学ぶ知識がそれに非常に近いものと感じました。投資銀行業務に従事する方、今後就職を目指す方には非常に有効な学習内容だと思います。

Q9 これから合格を目指す方へのアドバイス

学習経験から、この資格は会計知識(a)×英語力(b)×継続的学習時間確保(c)、の総合力が重要だと感じます。日本の会計士資格を既に取得（学習）しているか(a)、海外の大学卒業レベルの英語力を有するか（或いは、TOEIC®900点以上）(b)、或いはそうでなければ、平日と週末の両方に十分な時間が継続的に取れる方(c)は、努力次第では比較的短期で合格できる可能性がある資格だと思います。一方で、その前提条件が整わない方にとっては忘却曲線と焦りの闘いでもあり、一定の知識レベルにはなっても合格レベルに達するまでに一定の時間を要する試験でもあると思います。今後は、企業の働き方改革に伴い、平日でも時間確保の自由度が高まることが想定されますので、多くの方にチャレンジする機会が増えるものと思います。とりわけ、私と同様に家族をお持ちの方の場合、比較的長期間のチャレンジに対し家族の理解が得られるのかどうか、この資格を取得することでの可能性の拡がりや確りと伝え、家族の理解を得たうえで、なるべく短期集中型で学習されることを強く推奨したいと思います。

試験を終えての感想としては、この試験は、バックグラウンドと学習時間の確保の観点で成果が出るまでに相当個人差が生じる試験だと思います。当然、一発で合格しなければ、受験料のコストもかさみますし、受験者の多くが社会人ということも考慮すれば、この試験の感じ方は人それぞれだと思います。私は、それなりに時間を要した方に属すると思いますが、それでもこの学習を継続できた理由は、学習内容に実務的な意義を強く感じたことが背景です。この試験の学習内容は、投資銀行業務における思考回路に非常にマッチしていると思いますし、事業会社の経営企画や財務、経理部門の方々も役立つ知識が満載です。この資格を取って会計士として活躍する選択肢を取る方も勿論のこと、この知識を現在の業務に活かしていきたいと考えている方にも魅力的な資格ではないかと思えます。時間と費用がそれなりに掛かりますので、ご自身の学習環境を良く考慮のうえ受講開始をお勧め致します。

この資格は科目合格が有効であるものの、やはり一年半で全科目合格の必要がある試験でもあり、仕事との掛け持ちの場合にはそれなりの負荷が掛かってくる学習でもあります。これまでの学習経験から申し上げると昨今の新試験内容は、徐々に英語力を試される内容へとシフトしつつあり、単純に答えを選ぶ内容ではなく英語での理解度が前提となってきた為、日本人にとっては以前よりも若干難易度が上がっている印象を持ちます。

この資格にご興味のある方は、早期の受講開始と受験を推奨したいと思います。

最後に、ご支援頂いたTACの関係者、並びに家族の支援・協力に心から感謝したいと思います。本当に有難うございました。



働きながらも合格できます

葛 佳梅 さん

勤務先：監査法人

2018年9月 USCPA試験合格（ワシントン州）

FAR：76点（2018年2月／1回目）、BEC：92点（2018年9月／1回目）

REG：88点（2018年1月／1回目）、AUD：83点（2018年6月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

監査法人に入社したことをきっかけに、国際的な資格を取ろうと思い、USCPAにチャレンジしました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：会計学学士号（海外の大学）、日商簿記検定2級
英語知識：TOEIC®L&R TEST 910点、欧米留学経験あり

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

事前に調べた結果、Beckerの教材が良いと分かりましたので、TACを選びました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

メリハリのある講座です。先生は得点源のA&Bランクの論点を教えてくれますので、それらを確実にマスターできれば合格はできると思います。Becker Onlineは本試験操作画面変更や論点のアップデートを素早く対応してくれますので、とても安心でした。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

DVD通学コースで学習しました。合格までの学習時間は2016年12月から2018年9月初旬までの1年9ヶ月でした。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

全科目について、TACテキストを一度通読しました。試験範囲の全体像をつかめると思います。

受験手順は1.REG、2.FAR、3.AUD、4.BECでした。

REGについて、とにかく暗記が必要です。内田先生の説明と総まとめは本当に素晴らしかったです。厳選問題集は2回転、SIM問題集も2回転、試験前にはBecker OnlineのMock Testを1回受けて、本試験に無事合格できました。

FARについて、私の場合復習時間が4週間しか残りませんでした。企業会計はテキストを通読してから、Becker OnlineでMCQを回転しました。公会計はTAXと同様に、内田先生の総まとめを暗記して、厳選問題集を解きました。本試験の直前にMock Testは2回受けましたが、かなり衝撃的な低い点数が出ました。でも本試験はぎりぎり合格できました。

AUDは実際に内容量が一番少ない科目だと思います。業務の流れを理解することが一番大事です。監査法人に所属していますので、各プロセスは多少は分かっていました。主要論点と各レポートを覚えて、Becker Onlineの問題を回転するだけでした。本試験では、SIM問題にFARの論点も問われましたので、FARの次にAUDを受験してよかったと思いました。

BECについて、大学の学科が商学でしたので、管理会計と経済学の部分は馴染みです。CG部分はAUDと重なった部分もありますが、IT部分は少し苦労しました。学生時代は英語でレポートと論文を結構書きましたので、WCについては特に悩んでいませんでした。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

学歴審査と出願手続は早めに計画して出したほうが良いです。私はそれらの手続だけで4ヶ月以上かかりました。学歴審査を受けた結果、想定外にも会計単位が0.5単位足りていなかったことや、留学した海外の大学から発送された成績証明書を失くされてしまう等、本当に色々なトラブルが起こっていました。当時かなりやる気が落ちてしまって、電話でTACのスタッフ・先生とも相談して、無事に乗り越えました。

Q8 勉強したことが仕事に役立っていることは

これから海外関連、会計関連の仕事が増えそうです。

Q9 これから合格を目指す方へのアドバイス

TACとBeckerを信じることで、USCPAは必ず合格できる試験です。

TACとBeckerを信じ、最後まで諦めないこと



E.A さん

早稲田大学卒業
勤務先：金融機関

2018年9月 USCPA試験合格（NY州）

FAR：84点（2017年2月／4回目）、BEC：76点（2018年9月／7回目）

REG：82点（2018年6月／3回目）、AUD：80点（2017年9月／4回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

夫の海外勤務に伴い、仕事を退職したことがきっかけで以前から気になっていたUSCPAについて調べました。自分も海外で働くビジョンがあり、今後のキャリアを考えた時に専門的な知識を身に付けたいと思いチャレンジを決めました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：なし
英語知識：TOEIC®L&R TEST 915点/留学経験あり/仕事で日常的に使用

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

別の予備校で約1年勉強しましたが1教科も合格できず、点数も下がってしまっただけ。

TACを選んだ理由は、1、教材の質と量。2、信頼できる先生がいっぱいしゃると感じた為。3、Becker教材を利用できること。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

TACを選んで一番よかったと思うのは、信頼できる先生がいっぱいしゃったことです。特に阿辺先生には大変お世話になりました。何度も不合格が続く中で諦めずに合格まで頑張ることができたのは、阿辺先生をはじめ、小泉先生や各教科をご担当されている先生方の熱心なご指導と事務局の方々のサポートのおかげだと大変感謝しております。必ず合格できると最後まで支えてくださった阿辺先生に全教科合格のご報告ができたことが本当に嬉しいです。

また、TACではBeckerの教材を使用できオンライン上で本試験と同じような環境で問題を解くことができたことはとても良かったです。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

2年11ヶ月（別の予備校1年1ヶ月/TAC1年10ヶ月）
FARは通信。REGは通学。AUD、BECは通信と通学どちらも利用。

勉強期間中に海外引越しが2回あり、日本に帰国しているタイミングでREG、AUD、BECの授業に通学しました。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

（全般）

MC（4択問題）：講義を視聴後、その範囲のTAC問題集を解き、間違っただけと正解だけと曖昧な部分に関してはテキストに戻り再度学習していました。（問題集の進捗をエクセルで管理し、日付と○△×のチェックを残していました。）全体の講義を終えた後、再度△×の問題を解きなおし、全て○になるまで繰り返し、全て○になった後、再度全体を解きました。その他、AICPAのリリース問題は全て正答率90%以上になるまで繰り返し解いていました。その後Beckerオンラインの問題をAUD、REG、BECは全問解き累積正答率100%になった後、ランダム機能を利用してまとまった問題を本試験に近い状態で繰り返しアウトプットの練習をしました。試験直前には、BeckerのMock Exam（模擬試験）を解きました。

SIM（総合問題）：Beckerのオンライン上にあるSIM問題を利用し学習しました。

FAR（財務会計）：しっかりと理解をしながら基礎的なことをきちんとおさえることが重要だと思います。私は、別の予備校にて、1年近くひたすらMCを何度も繰り返し正答率がほぼ100%になっているような状態でしたが70点→71点→65点という推移でした。きちんと基礎を理解できていなかったことが原因だったと思います。TACで宮崎先生の通信講義にてテキスト重視の学習をしたところ2カ月後に合格することができました。非常に分かりやすい授業で、質問メールでも大変お世話になり感謝しております。試験直前で不安な時期も、先生から頂いたメールで大変励まされました。

AUD（監査）：AUDの問題は、どちらも正解だけでなくこちらの方が正しいというような形式の問題も出題されるので深い理解と監査全体の流れの理解が重要だと感じます。MCを解く際に間違っている選択肢がなぜ間違いなのか説明できるように丁寧に問題を解くことを意識しました。阿辺先生の通学授業が非常に分かりやすく、先生作成のレジュメもテキストに戻らず、監査全体の流れを短時間で総復習することができるので試験直前大変活用させて頂きました。また、TACのレポート集を利用し、各AUDレポートの違うところを意識しながら暗記したことも効果的でした。

REG（諸法規）：内田先生の直前対策と、杉浦先生のAランクの個所が記載されたBLのテキストが素晴らしいです。REGは暗記が必要などころも多

くあるので大変ではありますが理解して覚えることができれば本試験でどのような問題が出て自分の理解に基づき回答することができるように思います。不合格が続いてしまった際に、小泉先生から理解よりも暗記に偏ってしまっている可能性があるのでは？と今後の勉強方法についての的確なアドバイスを頂きました。理解して学習するというのを再度意識し、テキストを読み込み、組織によって同じところと違っているところなどを自分でノートにまとめ、頭の中を整理していくことで合格することができました。

BEC（企業経営環境・経営概念）：4科目の中で一番苦労しました。合格できる日が来ないのではないかと感じるほど本当に大変でしたが、最初に合格したFARのExpireがかかった試験でぎりぎり合格することができました。BECは1教科の中でMA&FIN（管理会計・ファイナンス）、CG（コーポレートガバナンス）、ECO（経済）、ITと広い範囲から出題されるので広く勉強し、その知識を維持することが大変でした。それぞれ実はつながっていて横のつながりを意識できた頃から少しずつ理解が深まっていったように感じます。

MA&FINの阿辺先生のレジュメとCGの杉浦先生のテキストが素晴らしいです。

ECOとWC（記述問題）のみ6回目の不合格までいつもWeakerだった為、7回目の試験ではBeckerの講義を全て視聴し、テキストを読み込みました。Beckerの講義、テキストは全て英語ですので英語の表現を覚えることでWCにも役立ったように思います。

WCは15%の配点ですが必ず自分なりの対策が必要だと思います。TACのWC講座を利用して頂きながら自分なりに書けるフォーマットを準備し、できるだけ多くの論点をライティングできるように対策しました。本試験では時間がない中で書かなければいけないので実際に試験前は時間を意識しながら練習していました。TACの添削を1度利用させて頂きましたが、人に見て頂くという意識の下で文章を書くことは緊張感があり、フィードバックも頂けるのでとてもよい経験でした。その後、私よりも英語力がある夫にお願いし毎日書いた文章を添削してもらいました。基本的な文法や言い回し等分かりますらいいところを指摘してもらい自分の使える表現力を増やす努力をしました。私は英語のライティングが苦手なので対策に多くの時間を掛けましたが、それがなければ合格できなかったと思っています。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

1教科合格するまで、自分がUSCPAの試験に合格することができるものなのか分からず、勉強方法なども模索する日々でしたが、1教科合格できたところから少しだけ自信を持つことができ、次の科目への合格につながったように思います。受験費用も高いのですが、ある程度学習が進んだ段階で受験を申し込んでみることも大事だと思います。たくさん不合格を経験し厳しい日々でしたが、受験しなければ気が付かなかったことも多くあります。

また、本試験ではタイムマネジメントが大事だと言われていますが、最後のExpireがかかったBECの試験では合格を意識しすぎてあらかじめ決めていた時間通りに進めることができませんでした。途中で落ちたと確信していましたが結果合格することができました。実際に試験結果はスコアがでるまで分かりません。4時間の長い試験の中で集中力がきれてしまうことはありますが、試験最後まで諦めないこと、SIMでは1点でも部分点をとるという気持ちが大事だと思います。全体を通して諦めない姿勢が本当に大事な試験だと思います。

Q8 勉強したことが仕事に役立っていることは

これから資格を活かしてアメリカにて仕事をしたいと思っています。

Q9 これから合格を目指す方へのアドバイス

まず何より大事なのは、全教科合格まで「諦めない気持ち」だと思います。私は会計知識ゼロからのスタートで、全教科合格までの勉強は非常に大変でしたが、必ず合格して米国公認会計士になりたいという気持ちで諦めず勉強を続けていくことができました。

この試験は、英語力や会計知識により合格までに必要な期間や勉強量が人によって大きく異なる試験だと思います。人と比べることなく自分にとって必要な勉強と期間を意識することも大事だと思います。また、定期的に勉強方法が正しいかという妥当性の検証を行うことをお勧めします。私は本試験で不合格になった際、スコアレポートをもとに今後の勉強方法を相談させて頂き、先生から客観的なアドバイスを頂くことがとても効果的でした。

また、他の受験者の方と交流できるような機会があればぜひ参加することを勧めます。

私は1年以上1人で勉強していましたが、TACでお世話になってから、セミナーや通学等で出会った学習者の方と交流する機会を頂き、勉強面でもたくさんの刺激を受けました。最後に、2年11ヶ月勉強が中心の生活でしたが、そのような生活を理解し合格を信じ応援し続けてくれた夫と、阿辺先生をはじめTACの素晴らしい先生方、事務局の方の支えに心から感謝致します。



完璧を目指さず、メリハリをつけて

齋藤 広樹 さん

1989年6月生まれ

慶應義塾大学

勤務先：総合商社勤務 米国駐在中

2018年7月 USCPA試験合格（ニューハンプシャー州）

FAR：82点（2017年2月／1回目）、BEC：81点（2017年9月／1回目）

REG：81点（2018年2月／2回目）、AUD：80点（2018年7月／2回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

現在、総合商社に勤務していますが、米国は事業投資先としてエクスポージャーが大きく、主力マーケットとなっています。将来的な駐在の可能性もふまえた際に、CPAを持っていることが、現地関係者からの信頼獲得につながると考えました（実際に、FAR合格直後、米国駐在となりました）。また、会計・税務の基礎知識を体系的・網羅的に学べるという点も魅力に感じました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：以前に日本の証券アナリストを取得していましたが、体系的に学習したことはありませんでした。
英語知識：海外在住経験があるため、問題はありませんでした。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

2013年の年末にニューハンプシャー州の出願基準が変わると聞き、追加の科目取得の必要がないことから、とりあえず出願だけでも済ませておこうと、TACの無料診断サービスを利用しました。その際は出願だけでしたが、サポートが手厚く親身になって相談にのってくださり、安心感があつたため、TACに決めました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

テキストは学習のポイントが効率的に整理されており、個性豊かな講師の先生方の説明もとても分かりやすく、まったく無駄のないものでした。講座を受講中に試験制度が変更されましたが、Beckerのオンライン教材は、変更に合わせてアップデートされるので、大変便利でした。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

通信でした。学習開始から合格まで、1年半程度です。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

各科目2ヶ月サイクルを目安に、前半1ヶ月を講義視聴、後半1ヶ月を問題演習にあてました。なるべくメリハリをつけて勉強することを心がけ、科目合格の後には、旅行をするなど気分転換をしました。科目毎の勉強開始時点は、全体像が見えず苦痛でしたが、心を無にして、2倍速で視聴していくと、徐々に頭の中でも知識が体系化されていき、楽しくなりました。演習は、最低でもTAC問題集掲載の過去問、BeckerのSimulation一周、Mock Examは2回分解くようにしました。細かい暗記事項は後半の2,3週間で集中して行いました。

また、試験当日までに勉強不足だと感じて、何が起こるか分からないので、多少の不安があってもとりあえず試験だけは受けるようにしました。

講義で一通りの論点は網羅されています。Simulation問題の演習では、時間を気にせず、今日の論点が問われているのか、を頭の中で整理しながら解くと定着が早かった気がします。最終的には、TACのまとめ冊子に細かいポイントなどを書き込み、直前に見直しました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

FARに合格した直後に、米国への駐在が決まり、しばらくは渡航準備や生活の設営等に時間を取られ、勉強は中断せざるを得ませんでした。残りの3科目については、米国着任後に現地のプロメトリックセンターで受験しましたが、フレンドリーなスタッフが多く、リラックスして臨むことができました。試験の休憩時間には、軽食（バナナ等）とカフェインのタブレットを口にするようにしました。

Q8 勉強したことが仕事に役立っていることは

現在、北米を中心に資源/インフラ投資のファイナンス業務に携わっており、学習内容や知識は直接活かしていると感じます。個々の取引を仕訳レベルで落とし込めると、財務モデルなどの見え方も変わってきますし、法人設立や連邦法に関する基礎知識があると、個別の契約書の理解も進むのではないのでしょうか。

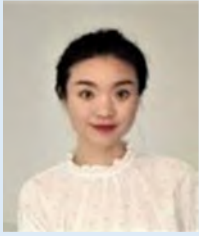
また、ちょうどREGの勉強中に米国にて税制改革がありました。改正の内容から政権が何を意図し、どのような層に響く法律を打ち出しているか手取るように分かり、学習への関心も一層増しました（幸い試験への反映はすぐではないと分かり安堵しましたが笑）。

Q9 これから合格を目指す方へのアドバイス

US CPA試験は、試験範囲も広いため、付け焼刃の勉強では受かりません。ただし、多少勉強不足だと感じて、まずは受験してみる事が大切だと思います。完璧を目指して、途中で挫折するよりも、まずは試験日を確定しチャレンジすれば、色々な感覚も掴めると思います。私自身は試験の当日に、もうこれ以上勉強することはない、と確信を持って臨めたことは一度もありませんでした。

また、勉強法は他の方の合格体験記等を参考にしながら、自分にあった学習方法や演習の回数を確立していくことをお勧めします。あくまでも試験に合格することが目的なので、演習の回数などにはそれほどこだわる必要はないと思います。

仕事の忙しい社会人の方が多くかと思いますが、モチベーションを保つためにも、メリハリをつけて、短期間で一気に仕上げるイメージで取り組むと良いと思います。



信じる思いで、夢を実現させてください！

劉 一博 さん

広島大学大学院
勤務先：監査法人

2018年6月 USCPA試験合格（アラスカ州）

FAR：77点（2017年11月／1回目）、BEC：77点（2017年10月／1回目）

REG：89点（2018年2月／2回目）、AUD：77点（2018年4月／2回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

商社での経営企画の仕事の中で、管理会計に関わることが多かったため、その時に「会計は現代経営の中枢である」という事に気づき、体系立てた会計知識を取得しようと思いUSCPAの勉強を始めました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：日商簿記2級

英語知識：TOEIC®L&R TEST 850点

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

Becker Online 演習ソフトを使っている事や受講期間が終わってからのフォロー制度も充実しているという事を考慮してTACに決めました。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

Beckerの教材があるため、英語のみでも学習することもでき、TACの教材にある日本語とBecker教材の英語との対応を確認しながら勉強できたのも良かったです。Online 演習ソフトで本番さながらの問題演習ができることも大きな魅力であると思います。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

通学コース

1年半くらいです。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

「全体的に」

ざっくり予習→疑問点を考えながら授業を受ける→TAC問題集 + Becker Online演習ソフト（multiple choice + simulation)を解く→AICPAリリース問題を解く

「科目ごとに」

FAR：財務会計の一部内容は、以前合格した日商簿記2級で勉強した内容と被っていたので、他の科目と比べると、深く理解できました。Online演習ソフトのMCを解かず、TAC問題集（1周）+Online演習ソフトsimulation（1周）+AICPAリリース問題を約5年分解きました。

間違った問題をもう一度繰り返して、印象を強化しました。範囲が広いので、テキストの重点をしっかりと理解した上で、問題集を解く事が近道だと思います。

BEC：大学院で経済学を既に学んでいたため、ECOには対応できましたが、ITとCGの学習には苦勞をしました。MCはTAC問題集だけでなく、Becker 実践トレーニング集も2回繰り返しました。MAのメイン内容も日商簿記2級で勉強した管理会計の内容と被っていたので、TAC問題集だけやりました。

REG：TAXでは、内田先生の直前対策を最大限に活用しました。直前対策のポイントを暗記した上で、TAC問題集（MC）（1周）+Online演習ソフト（MC+simulation）（1周）+AICPAリリース問題を約5年分解きました。

BLは範囲が広いので、Aランクの知識しか暗記することができませんでした。Online演習ソフト（MC+simulation）（1周）を解き、間違った問題をもう一度繰り返して、AICPAリリース問題を3年分解きました。

AUD：BECと同じく暗記重視の科目で、さらに英語の読解力が最も必要とされる科目なので、この科目のみ、Beckerの英文テキストも読みました。また、FARでの知識も必要になってくるので、受験の順番を考慮したほうが良いかもしれません。レポート類を暗記できれば、大いに役に立つと思います。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

- ・学歴審査を早めに済ませることが大事だと思います。審査後、単位不足の場合は、学習スケジュールに影響が出るので、早い段階で単位認定試験を受けた方がいいと思います。
- ・本試験は、とにかく時間配分に気を付けました。MCは1問1分10秒の計算で解く事でsimulationとwritingに十分な時間を残すことができました。4時間の試験はかなり体力を消耗するので、15分の休憩で体を動かしたり、栄養ドリンクを飲んだりして、リフレッシュするようにしました。

Q8 勉強したことが仕事に役立っていることは

日本国内監査業務だけでなく、国際監査業務にもチャレンジできるようになりました。

Q9 これから合格を目指す方へのアドバイス

長期間の受験勉強で心身ともに疲れ果てて限界を迎えた時に、最初にどうしてUSCPAの資格を取得しようと思ったのか理由を思い出しましょう。昨日よりもっと良い自分になりたいからでしょうか？この資格で自分の世界をもっと広げたいからでしょうか？答えは「YES!」なら、

もっと頑張りましょう！

信じる思いで取り組んでいったら、必ず合格できますよ！

自分の夢を実現させましょう！！



会計知識ゼロ、英語ノンネイティブでも継続努力すれば合格できる！

笹岡 則宏 さん

1987年12月生まれ
東北大学 法学部 2012年卒
勤務先：電機メーカー

2018年9月 USCPA試験合格（アラスカ州）
FAR：78点（2017年5月／1回目）、BEC：78点（2017年11月／1回目）
REG：86点（2018年7月／1回目）、AUD：78点（2018年9月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

自身のキャリア形成のためです。
ビジネスの三種の神器として、英語・会計・ITが挙げられることがありますが、そのうちの2つについて一定の知識レベルの習得・証明ができるのは非常に大きな意義があると考えました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：なし（実務経験なし）
英語知識：TOEIC®L&R TEST 730点

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

1. テキストに具体例が豊富で記載が分かりやすいと感じたこと。
2. 自習室が豊富で時間制限なく使用できること。
3. 受講料の安さ（会社の福利厚生ポイントを利用したことも影響）、の3点です。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

1. テキスト・講師の質
全科目のテキストで具体例が記載されており、実際の問題や会計処理のイメージができ理解しやすかったです。この点は会計初学者の私には非常に助かりました。
また、公会計・TAXを担当されている内田講師の直前対策まとめノートが秀逸で、自分でまとめる時間が省けるとともに、分野を横断した内容となっていて当該科目の短期合格に大きく寄与しました。その他の講師の方も分かりやすく、ポイントを押さえた講義をされており助かりました。
2. 自習室が豊富、時間制限なし
私は自宅で勉強できないタイプなので、勉強は基本的にTACの自習室を使いました。首都圏ですと複数の校舎があり、複数の教室が自習室として開放されているので、仕事帰りや休日によく利用しました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

DVD通信です（スクーリングは全体の15%程度）。
合格までは、2年8ヶ月かかりました。ちょうど半分の1年4か月をFARに使いました。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

全般的には、すべての科目で、授業→TAC問題集→Becker&AICPAリリース問題という流れで進めました。また、2科目を同時並行することで飽きないようにしました。たとえば、FARの問題演習（output）と平行してBECの授業（input）を受講し、FARがテストを受け終わったら、BECの問題演習（output）とREGの授業（input）を初めて行きました。1つの科目だけをやっていると精神的に行き詰まることがありますし、飽きてきますのでこのような方法で勉強しました。いずれの科目も、理解して覚えること、実際の業務ではどのような場面が想定されるのかをイメージすることを意識して学習しました。

なお、直前期はMock Examを複数回実施し、自分なりの時間配分をつかんでおくことで本番もあせらずに解答できたと思います。

科目別

FAR：財務会計は意味を理解して仕訳すること、公会計は企業会計と違うところを理解して暗記しました。いずれも問題演習で知識の定着を図りました。

BEC：仕事で企画系の業務をしていたので、テキストに出てくる理論的な部分と自分の普段の業務を結びつけることでイメージを沸かせて記憶の定着を図りました。

REG：税法は、内田講師の直前対策まとめノートをフル活用し、知識に横串を通し、理解して暗記しました。ビジネス法では、杉浦講師が分かりやすくポイントを絞って解説していただけたので、特に苦にはなりませんでした。

AUD：テキストに書かれている部分が、自社の業務の流れや統制ではどうなっているかを考え、具体的に流れをイメージすることで理解が進み、初見の問題でも考えれば解けるようにしました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

手続きでは特に困ったことはありません。
しかし、受験日の設定に関しては、大型連休・土日・テストウィンドウ最終日付近はテストセンターが混む確率が高いように思いますので、早めに予約しないと満席で予約できなくなってしまいます。またそのような日は、当日も混む確率が高いと思います。
私の場合、最後のAUDの試験は、テストウィンドウ最終日に受験しましたが、2ヶ月前に予約したので席は確保できたものの当日は会場が大混雑となり、試験室への入室まで1時間かかりました。

Q8 勉強したことが仕事に役立っていることは

学習開始時と違い、現在は財務・経理に異動しました。
普段の業務が学習内容と直結しており、大いに役に立っています。

Q9 これから合格を目指す方へのアドバイス

この資格試験は決して簡単ではありませんが、あきらめずに的確に継続的に努力をすれば合格できる資格試験だと思います。

私は諦めずに勉強するためには、「スケジュールリング」と「モチベーションの維持」が重要だと思っています。

「スケジュールリング」に関しては、仕事の繁忙期・連休を考慮して受験日を決めて締切り効果を活用すること、「モチベーションの維持」のためには、SNSの活用や勉強仲間を作ることをオススメ致します。

TAC&Beckerで絶対に合格できると信じて頑張ってください。



定年退職を契機にチャレンジ

鈴木 勤 さん

1958年9月生まれ
上智大学 1982年卒業
勤務先：商社

2018年12月 USCPA試験合格（ワシントン州）
FAR：81点（2018年12月／3回目）、BEC：85点（2018年6月／1回目）
REG：75点（2018年6月／1回目）、AUD：85点（2018年12月／3回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

2018年に勤務先で定年退職を迎えることを契機に、米国での就職にチャレンジしようと思立ち、そのツールとして、USCPAライセンス取得を決意しました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：勤務先関連会社での法務、税務、内部統制の知識。会計知識は基礎のみ。
英語知識：海外駐在（非英語圏）で習得した知識。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

インターネットで検索結果、通信教育の教材とカリキュラムが充実しており、ライセンス取得までのケアが整っていたから。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

問合せへの親身な対応。特に、単位取得・本試験受験や、ライセンス取得に向けた受験前後の煩雑な手続きまで含め、最後まで懇切丁寧に指導頂いたこと。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

DVD通信。
Bradley Universityでの単位取得に1年、本試験合格に1年。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

Bradley Universityでの単位取得はTACの教材で学習。日本語で効率的に基礎知識を習得できた。本試験への準備は、本試験の形式に近く、より実践的と感じたBeckerのオンライン教材を中心に学習。海外勤務の都合で休暇取得に制限があったため、1回目の試験で4科目を4日連続受験したが、FARとAUDは不合格となった。FARは学習範囲が広く、又、AUDは正確な読込と回答が必要で、準備不足であった。結局、FARとAUDは、一定期間集中的に学習準備ができた3回目の試験でやっと合格できた。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

Beckerのオンライン講義は講師が明るく、冗談交じりで、楽しく受講でき、又、将来の英語圏での勤務に向けてCPA職務に関連した英語の習得にも役立つと感じた。1回目の試験は日本で、2回目から3回目までは米国で受験したが、米国の試験場は極めて事務的な対応であったのに対し、日本は懇切丁寧で親身に対応してくれ、文化の違いを実感した。

Q9 これから合格を目指す方へのアドバイス

Beckerのオンライン講義は、将来の英語圏での業務に向け、英語力向上にも有益と感じました。



基礎を大切に

桑原 雄治 さん

1987年7月生まれ
慶應義塾大学 経済学部 2010年3月卒業
勤務先：金融機関 公認会計士、税理士

2018年11月 USCPA試験合格（ワシントン州）
FAR：95点（2018年4月／1回目）、BEC：94点（2018年5月／1回目）
REG：87点（2018年8月／1回目）、AUD：89点（2018年11月／1回目）

Q1 USCPA試験にチャレンジしようと思われた理由やきっかけは？

米系の金融機関で会計税務業務に従事しておりますが、これまでUSGAAPを含む米国における諸規則等に関する体系的な学習をした経験がありませんでした。実務で求められる知識は高度なものが多いと思いますが、資格試験を通じて基礎的な知識を整理することで、今後より深い理解を得ることの一助になるのではないかと考え受験を決めました。

Q2 学習開始時の英語力・会計知識は？

会計知識：日本の公認会計士資格を保有していました。
英語知識：TOEIC®L&R TEST 900点台程度です。得意ではありませんが業務で日常的に英語を使う機会があり、試験を受けるにあたり抵抗感はありませんでした。

Q3 TACをお選びいただいた理由は？

豊富な合格実績やBeckerとの提携関係に魅力を感じたためです。

Q4 TACの講座でよかったところ（講師、教材、カリキュラムなど）

試験に合格する上で必ずおさえるべき点とそうでない点とで強弱を付けた解説ないし教材の構成がされており、効率的に合格にたどり着ける環境が整っていると感じました。ご指導いただいたとおりに学習を進めれば大丈夫という安心感がありました。

Q5 通学・通信どちらで学習されましたか？合格までの学習期間は？

USCPA本科生DVD通信講座です。学習期間は約1年間です。

Q6 合格までの学習法（全般的なこと／科目別）

基本的には講義を全て聴講した後にTACの問題集とBeckerで問題演習を繰り返し行いました（Regulationに関しては比較的範囲が広いため、手を広げずTAC問題集のみ使用しました）。広く浅く問われる試験であるという認識があったため、問題演習を行う際には苦手分野を作らないことを意識して学習を進めました。具体的には、複数回間違えた問題に関しては基本的な理解が不足していることが原因だと考え、テキストに立ち返り、関連部分を精読した上で再度解いてみる等の対応を行いました。

Q7 受験手続・受験時のエピソードなど

NIESでの学歴審査に関しては通常約1か月程度が目安と思われませんが、私の場合は約3か月かかりました（特に提出書類等の不備があった訳ではなく、先方の人的リソース不足が原因だったようです）。これから受験を予定されている皆様におかれましては、受験スケジュールやモチベーションの維持に影響が出ないように、早めのお手続きをお勧め致します。また、FARの試験中、パソコン（回線）の不具合で試験が進行不能になる事態がありました（同試験中に計3、4回程度あったと記憶しています）。私だけでなく御茶ノ水会場で受験されていた他の方々にも同様の事が生じていたようですが、不具合が起きるたびに数分間程度そのまま座席で待機する必要がありました（その間、試験時間の時計は止まっておりました）。

Q8 勉強したことが仕事に役立っていることは

業務で日常的に日米の会計、監査および税務に触れる機会がありますが、今回の試験勉強を通して知識の整理ないしは確認をしたことで、基礎的な事項に関する理解や記憶の曖昧さを少なくすることができました。但し、実務で議論になるのはテキストに書かれている事よりも更に広く深い事項であることが多いと思いますので、その意味では今回学んだ事を起点として更に知見を広げて行くことが重要になってくると考えています。受験勉強は一段落となりましたが、今後も研鑽を続けて実務に活かして行けたらと考えています。

Q9 これから合格を目指す方へのアドバイス

私は最初の科目に合格したことで、準備段階における学習時間や手応えがどの程度あれば合格できるのかの感覚を掴むことができ、他科目の学習計画が楽になったと感じました。私自身、仕事をしながらの受験勉強でしたが、皆様の多くが同じように様々な時間的制約の中で勉強をされているのではないかと思います。上記の様な感覚を持つことで、長過ぎず短過ぎない適度な準備期間の設定が可能になると思いますので、まずは1科目合格することを目標にされると良いのではないかと思います（勿論、必ずしも全ての方に当てはまるものではないと思いますので、一例程度にお読み頂ければと存じます）。私の合格体験記をお読み頂き大変ありがとうございました。少しでも今後受験される方のお役に立つことができれば幸いです。